

TOTO

施工説明書

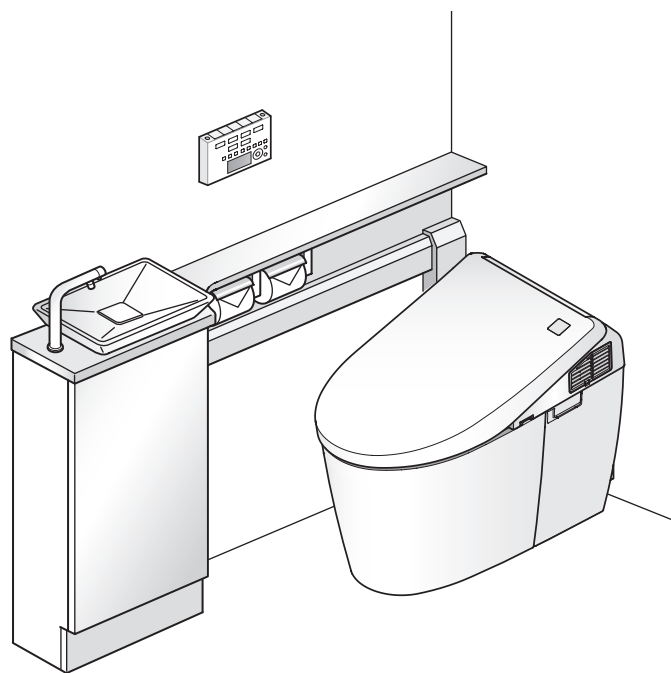
ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）

床排水（排水心200mm／排水心200mmリモデル／排水心320～540mmリモデル）
カウンタータイプ手洗器付
UWA 型

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
本書は手洗器が左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。
〈ウォシュレット・タオル掛け（壁付タイプ）・手すり・化粧鏡〉



商品タイプの確認 2

情報編

3

- | | |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 12 |

手順編

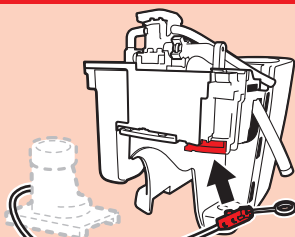
19
**必ず
実施**

工事店様へ

従来にはない施工が必要です。排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。▶P.43

従来製品からの主な注意点

①便器取り付け前に手動レバーを取り付ける



正しく取り付けられていないと、ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅します。

▶P.43

②停電時を使用するため電池ボックスは取り外さない



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

- | | | |
|--|---|--|
| ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。 | ☐ 取り付け後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。 | ☐ 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。 |
|--|---|--|

商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器タイプ

Sサイズ

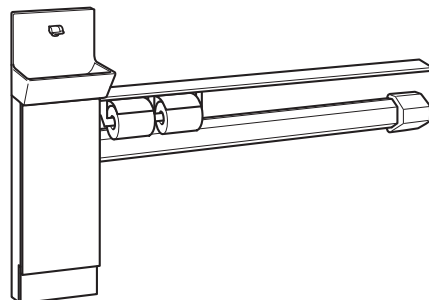


Mサイズ



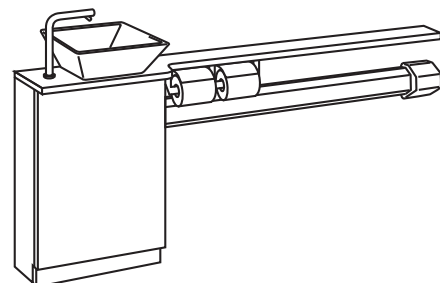
カウンタータイプ

Sサイズ



※図は左勝手の場合

Mサイズ



※図は左勝手の場合

水栓タイプ

Sサイズ



自動水栓



ハンドル式水栓

Mサイズ



自動水栓
(電気温水器付)



自動水栓



ハンドル式水栓

情報編

1. 安全上のご注意

▶ 4

2. 取り付け前のご注意

▶ 6

1	設置寸法	6
2	幅木	7
3	電気配線	7
4	給排水位置	8
5	補強	11
6	窓枠	11
7	必要工具	11

3. 部品の確認

▶ 12

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。		してはいけない「禁止」の内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 警告	 分解禁止	修理技術者以外の人 は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接地	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	 水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	 禁止	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。	
		指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。	
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		
		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	
	 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
		取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。	

 警告	 必ず守る	商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
		石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
		手洗器用クッション材の張り付け、シリコン系シーリング剤の塗布(コーキング)は確実に行う 水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。	

 注意	 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 カウンターの上に乘って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。
	 必ず守る	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。	ボードアンカーへのねじの固定は電動ドライバーを使用しない(手締める) ボードアンカーの破損により、取付物が落下し、けがの原因となります。
		商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。	給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。	ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。
		推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	水準器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。
		凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		便器の水溜まり部を見て、封水が切れていないことを確認する 封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じるおそれがあります。	給水ホースと分岐金具床継手は必ず指定のクイックファスナーで固定する ホースが外れて水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

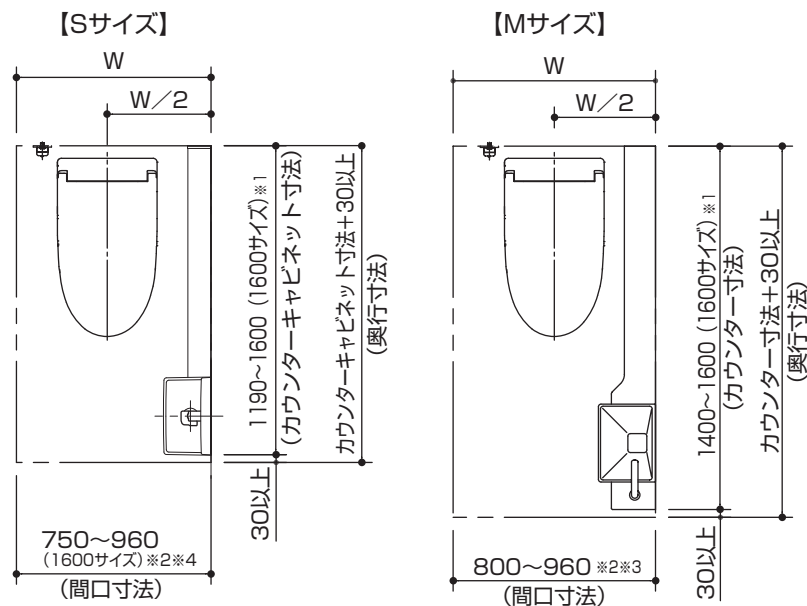
2. 取り付け前のご注意

取り付け前の確認

- 1 取り付けに必要なトイレスペースを確保する
▶P.6「設置寸法」参照
※ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 2 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保する
※壁が変色する原因となります。
- 3 AHタイプの場合、窓枠・棚・収納キャビネットなどと便ふたの干渉に注意する
※便ふたが当たって開ききらないことがあります。
棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください。
- 4 商品への通電および漏水確認は本説明書に準じて行う
- 5 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにする
- 6 定格電源、定格消費電力は下表を参照
※AC100V 50/60Hz共通です。
- 7 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1m、自動水栓用電源コードの長さは2.9mです。
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- 8 給水圧力
最低必要水圧：0.05MPa(流動10L/min)
最 高 水 圧：0.75MPa(静止時)
この圧力範囲で使用してください。
- 9 ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用する

定格消費電力	AH2W・RH2W	AH1・RH1・RH0	DH2・DH1
一般地 (流動方式兼用)	1381W	1281W	1269W
ヒーター付便器・ 水抜併用方式	1421W	1321W	1309W

1 設置寸法



カウンタータイプ(Sサイズ)1600サイズで間口800mm以上必要となる
トイレ奥行寸法

大便器給排水タイプ	トイレの奥行寸法
床排水・床排水リモデル(排水心320~475)※5	~1317

※1 トイレ奥行寸法に合わせて任意の長さにカットすることができます。カットしてご利用の際は、周辺機器との取り合いを十分確認してください。

※2 手洗器が右勝手でウォシュレット機能AH2W、RH2Wを選ぶ場合、間口860mm以上必要となります。

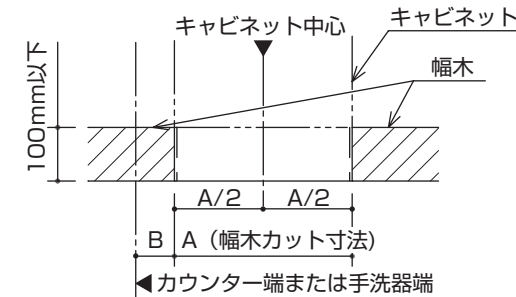
※3 便器中心からカウンター側の横壁まで400mm、便器中心からカウンターと反対側の横壁まで375mmを確保できる場合は、間口775mmから対応できます。

※4 トイレ奥行寸法が左表の範囲の場合、間口800mm以上必要となります。ただし便器中心からカウンター側の横壁まで400mm、便器中心からカウンターと反対側の横壁まで375mmを確保できる場合は、間口775mmから対応できます。

※5 床排水リモデル(排水心476~540)の場合は、便器を前に出して設置した寸法分を表中の奥行寸法に加算して確認してください。

2 幅木

- ・下図のように、あらかじめ幅木をカットしておく必要があります。
※キャビネットをカットすることもできます。その場合、幅木のカットは不要です。



手洗器	A	B
Sサイズ	287	9
Mサイズ	440	5

3 電気配線

大便器・自動水栓用

警告

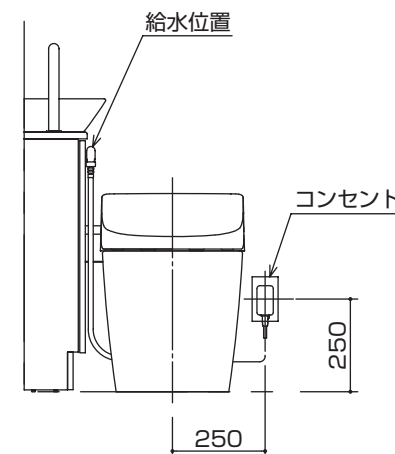
電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。



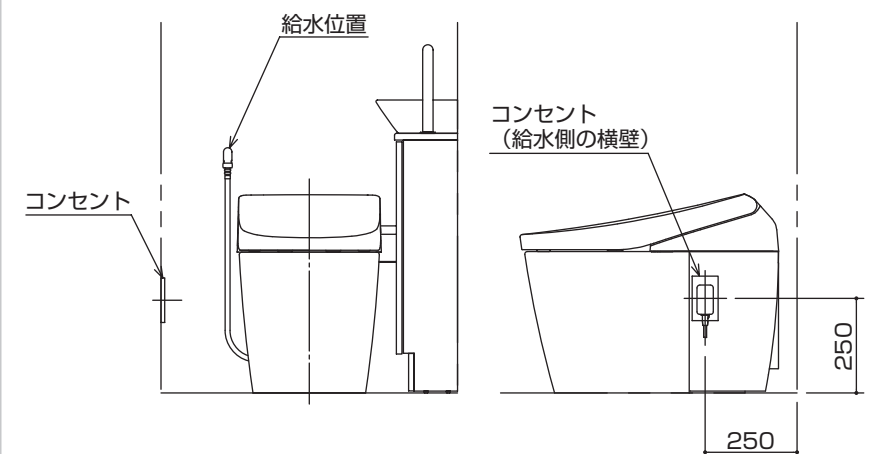
壁給水や露出された排水管の真下部に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースと電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり感電・発火の危険性があります。

コンセント設置位置は、便器を挟んで給水位置と反対側、もしくは横壁に設置してください。ただし、給水位置と反対側に手洗器がある場合には、給水側の横壁に設置してください。下図に、推奨位置を示しますので、参照してください。
なお、コンセントは接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式コンセント(自動水栓の場合、接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式2口コンセント)を取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

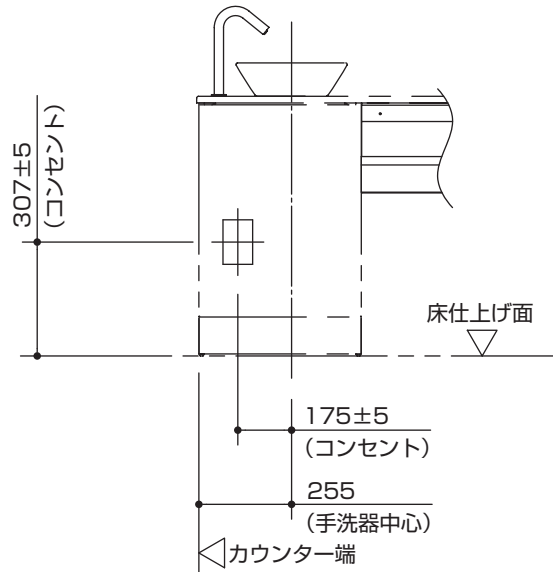
推奨位置



給水位置と反対側に手洗器がある場合



電気温水器用（Mサイズ用）

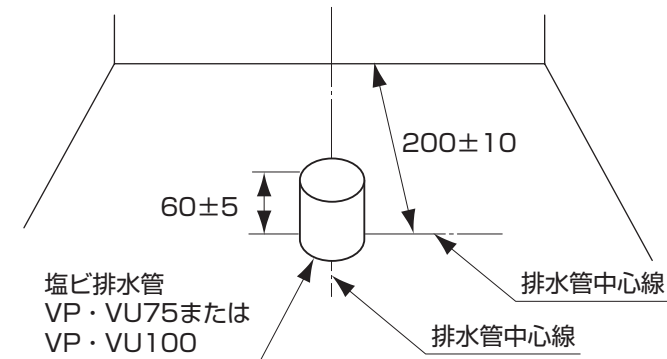


電気温水器付自動水栓の場合は、手洗器キャビネット内に、大便器用コンセントとは独立系統で、別途接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。左図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左図と逆勝手になります。

排水心200mmリモデル

排水位置

・排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げソケット（品番：HH01001R）を手配ください。
既設フランジを利用する場合は、取替アダプター（品番：HH01003）を手配ください。



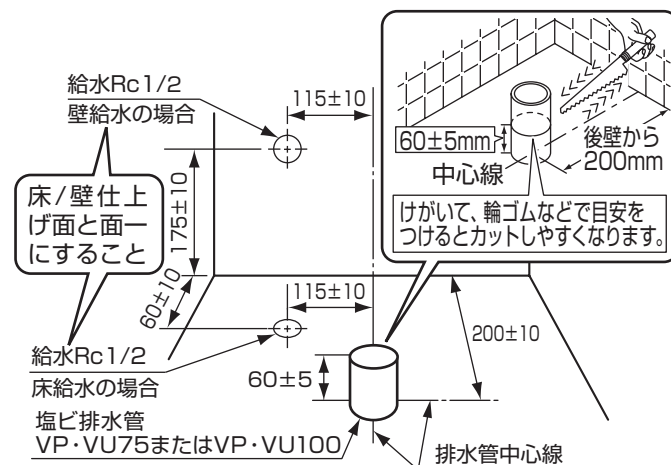
給水位置

・寒冷地（ヒーター付便器・水抜き併用方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。水抜きハンドルは製品（大便器、手洗器、配管など）と干渉しない位置に立ち上げてください。

4 給排水位置

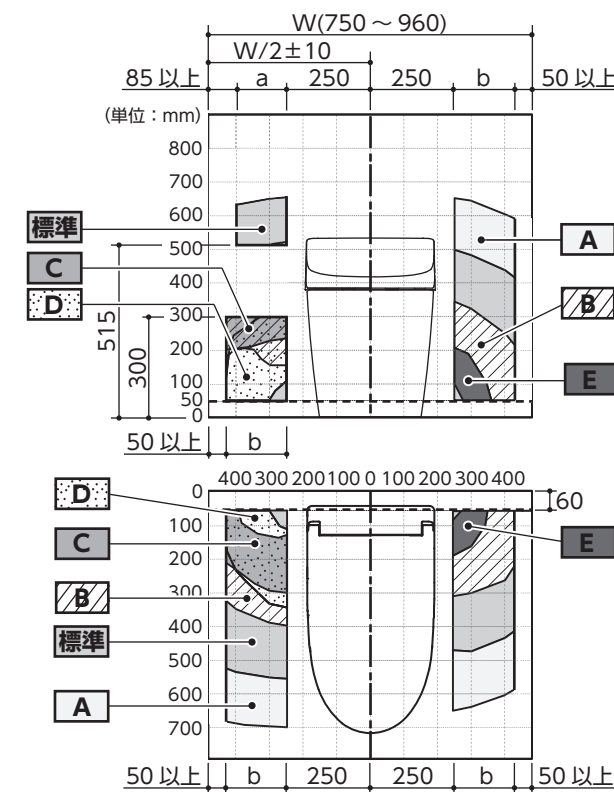
排水心200mm

・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
※寒冷地（ヒーター付便器・水抜き併用方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルは製品（大便器、手洗器、配管など）と干渉しない位置に立ち上げてください。

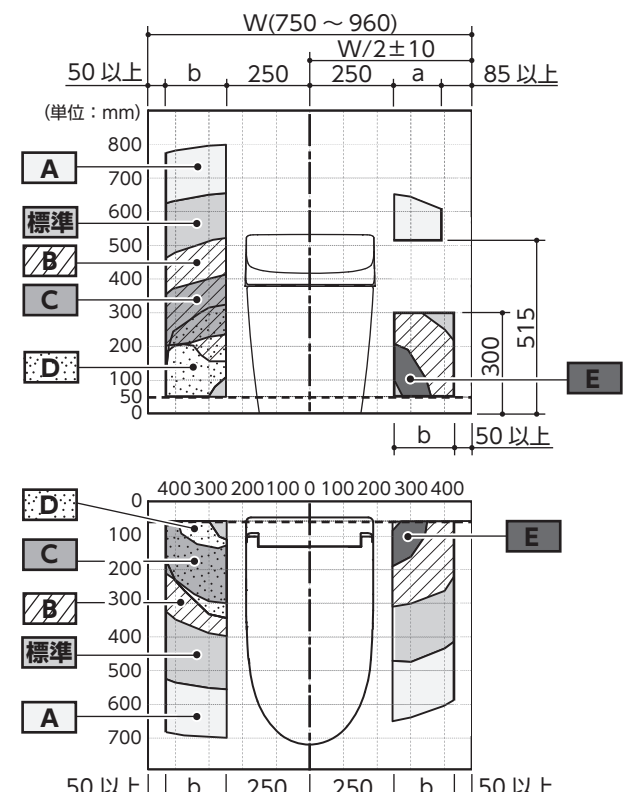


・排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げソケット（品番：HH01001R）をご購入ください。
施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

【左勝手】



【右勝手】



単位 (mm)		
間口	a寸法	b寸法
750～960	W/2～335	W/2～300

オプション給水ホース

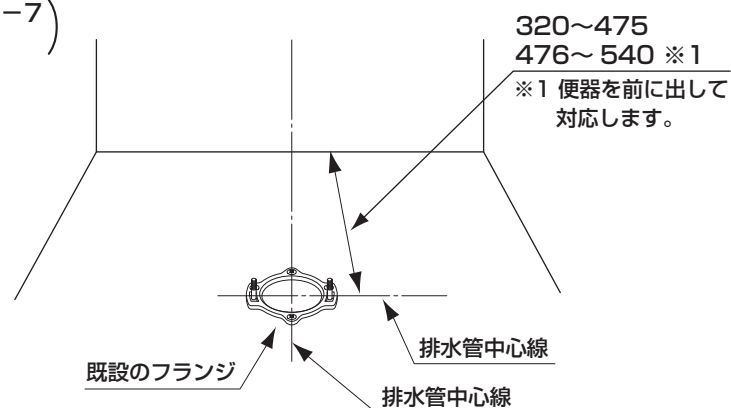
標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN1111L86 ¥11,000 (税抜)	550mm TN1111L552 ¥12,800 (税抜)	450mm TN1111L45 ¥10,500 (税抜)	400mm TN1111L40*1 ¥13,000 (税抜)	370mm TN1111L37*2 ¥12,000 (税抜)

*1 エルボが同梱されております。 *2 長さ調整用の継手が同梱されております。

排水心320～540mmリモデル

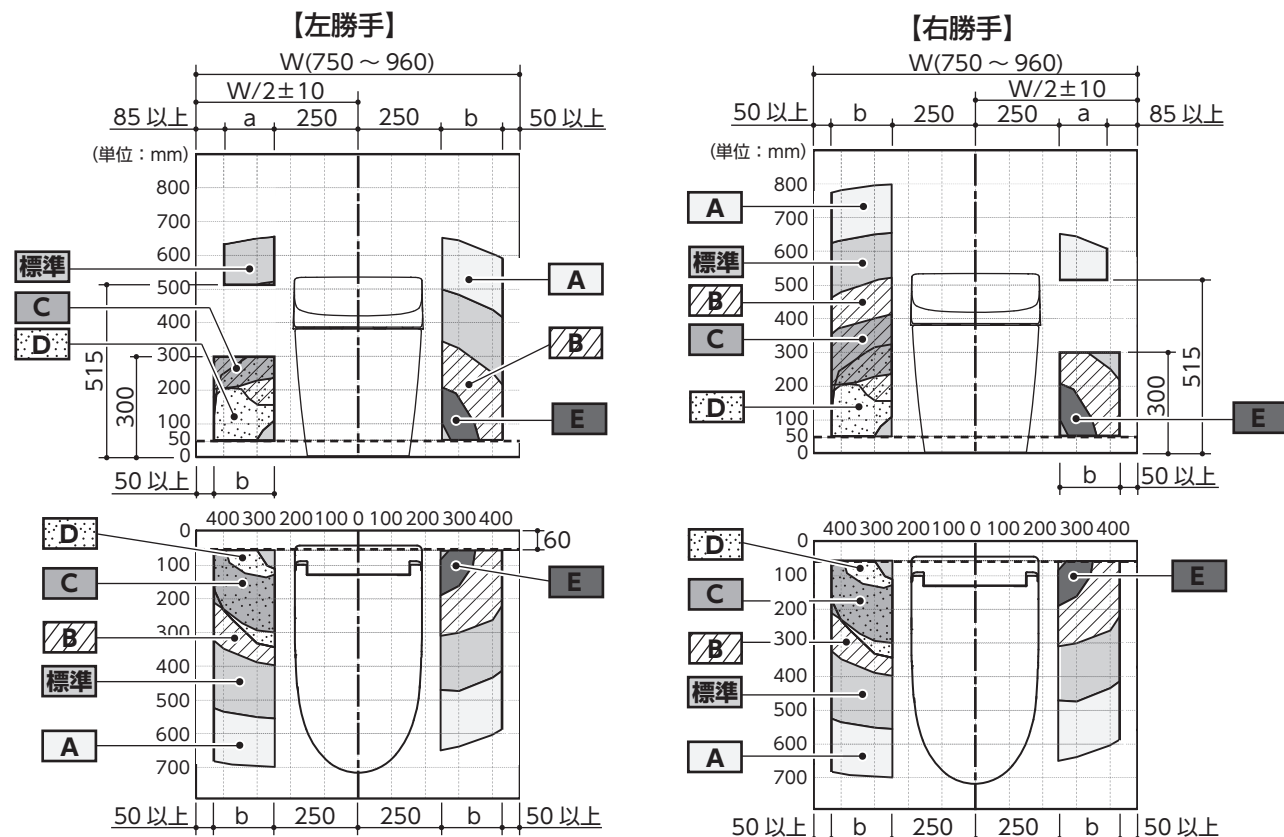
排水位置

- ・下記の位置に便器の排水心位置があることを確認ください。
既設のフランジを残します。既設フランジが使用できない場合、下記のフランジを手配ください。
(塩ビ管用 HP430-1、HP430-7)
(鉛管用 T53WR75/100)



給水位置

- ・寒冷地（ヒーター付便器・水抜き併用方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。水抜きハンドルは製品（大便器、手洗器、配管など）と干渉しない位置に立ち上げてください。



間口	a寸法	b寸法
750～960	W/2-335	W/2-300

※床排水で排水心が476mm以上の場合は、便器を前に出して施工してください。
なお、便器を前に出して施工する場合、オプション給水ホースの到達範囲が変わります。詳しくは当社各支社営業センターへお問い合わせください。

オプション給水ホース

標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000(税抜)	550mm TN111L552 ¥12,800(税抜)	450mm TN111L45 ¥10,500(税抜)	400mm TN111L40* ¥13,000(税抜)	370mm TN111L37*2 ¥12,000(税抜)

*1 エルボが同梱されております。 *2 長さ調整用の継手が同梱されております。

5 補強

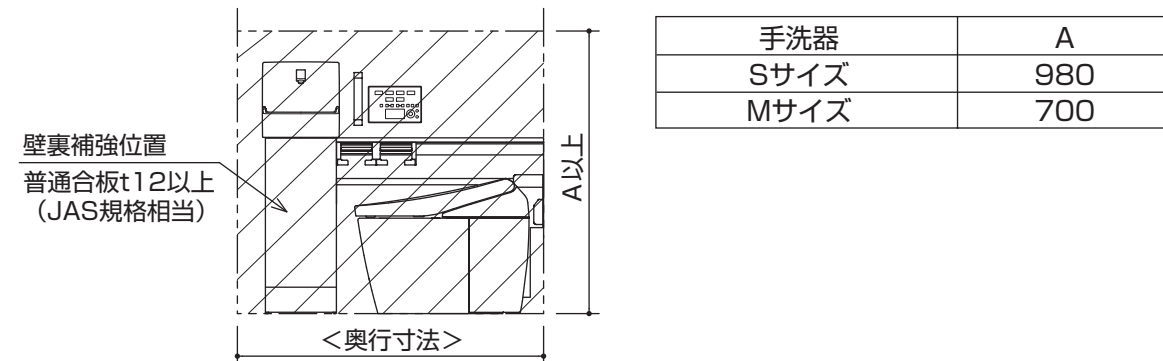
ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。

【URL】

<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

- ・手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、補強材として普通合板t12以上を壁面に入れておいてください。
JAS規格相当の合板を使用してください。

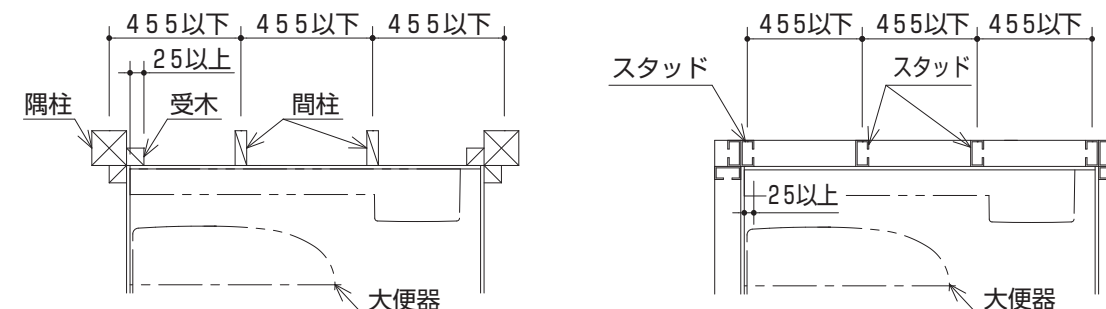
- ・タイル、コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴をあけ、コンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおいてください。



手洗器	A
Sサイズ	980
Mサイズ	700

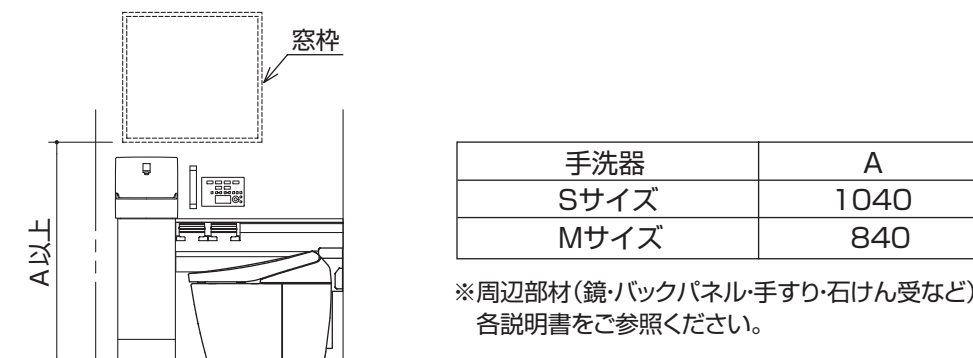
壁裏補強なしの場合

- ・間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)にカウンターを固定します。下図のように、カウンター取り付け面に、455mmピッチ以下で、間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)があることを確認してください。また、柱以外の壁面には、ボードアンカー(オプション:品番UGA490B)を使用してください。



6 窓枠

- ・窓がある場合、下図のような制約が付きま。事前に製品と干渉しないように注意してください。



手洗器	A
Sサイズ	1040
Mサイズ	840

※周辺部材(鏡・バックパネル・手すり・石けん受など)に関しては各説明書をご参照ください。

7 必要工具

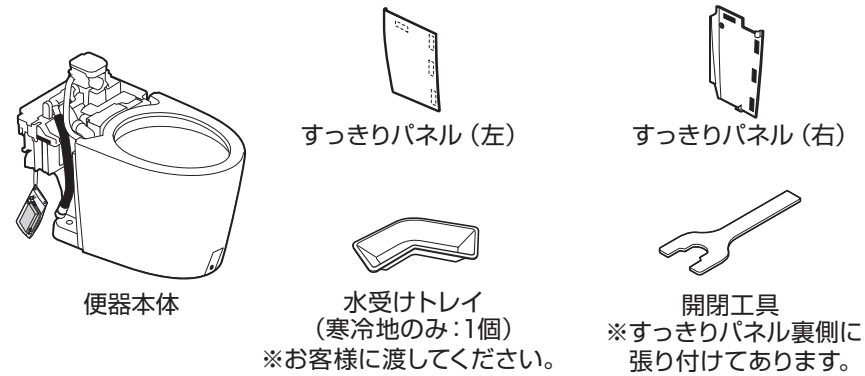
※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



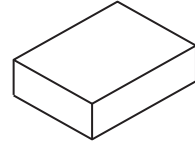
3.部品の確認

・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

大便器(共通部品)



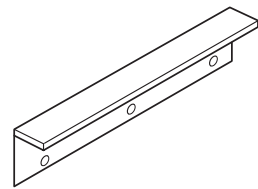
ウォシュレット(共通部品)



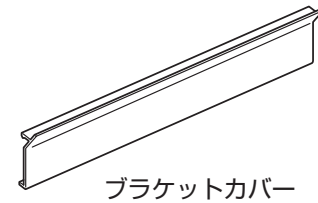
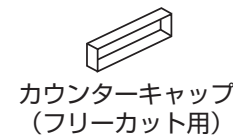
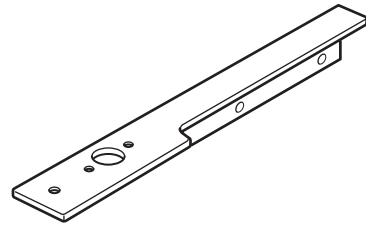
手洗器カウンターセット

カウンターセット

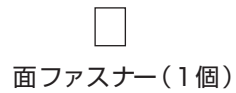
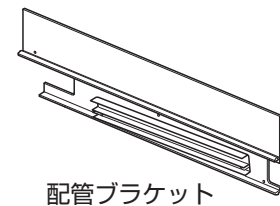
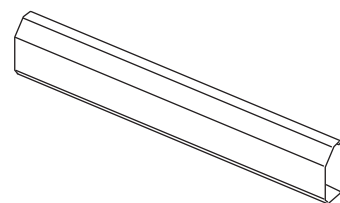
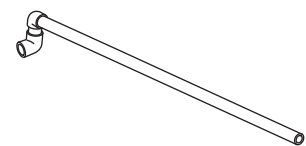
【Sサイズの場合】



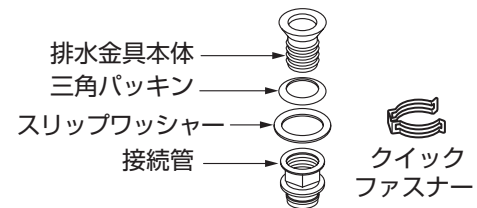
【Mサイズの場合】



配管部材セット



【Sサイズの場合】

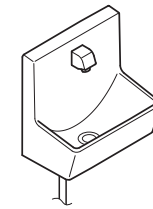


手洗器固定金具セット(Mサイズの場合)

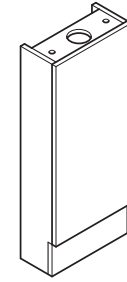


Sサイズ 手洗器セット

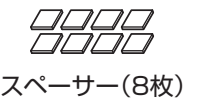
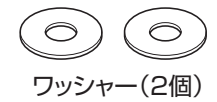
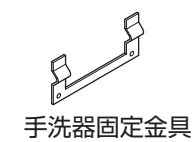
手洗器



キャビネット

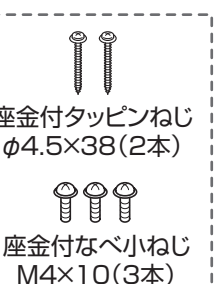
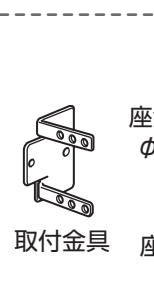
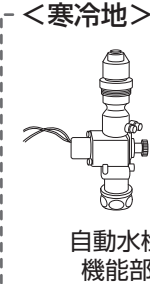
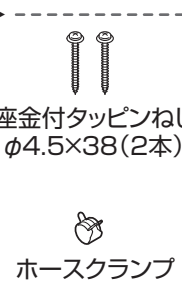
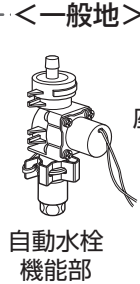
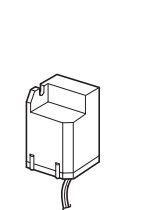


施工部材セット



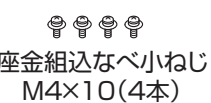
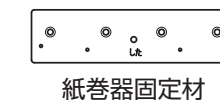
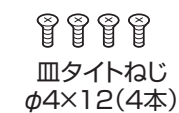
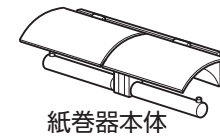
自動水栓

【機能部】

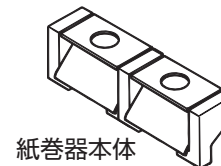


紙巻器(紙巻器がつく場合)

【メタル製】

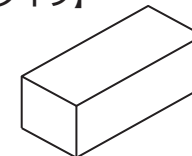


【樹脂製】



タオル掛け(タオル掛けがつく場合)

【壁取付タイプ】



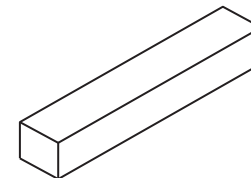
【手洗器下取付タイプ】



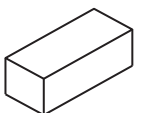
【手すり(手すりがつく場合)】

※コンテナポラリータイプ・メタルタイプは別の包装箱となります

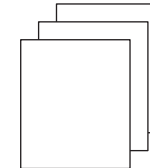
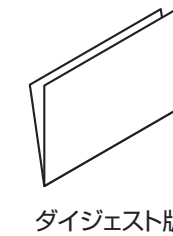
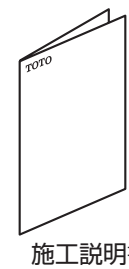
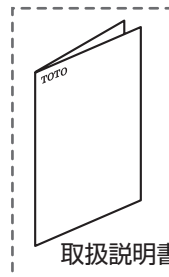
【天然木タイプ】



【ハンドグリップ】



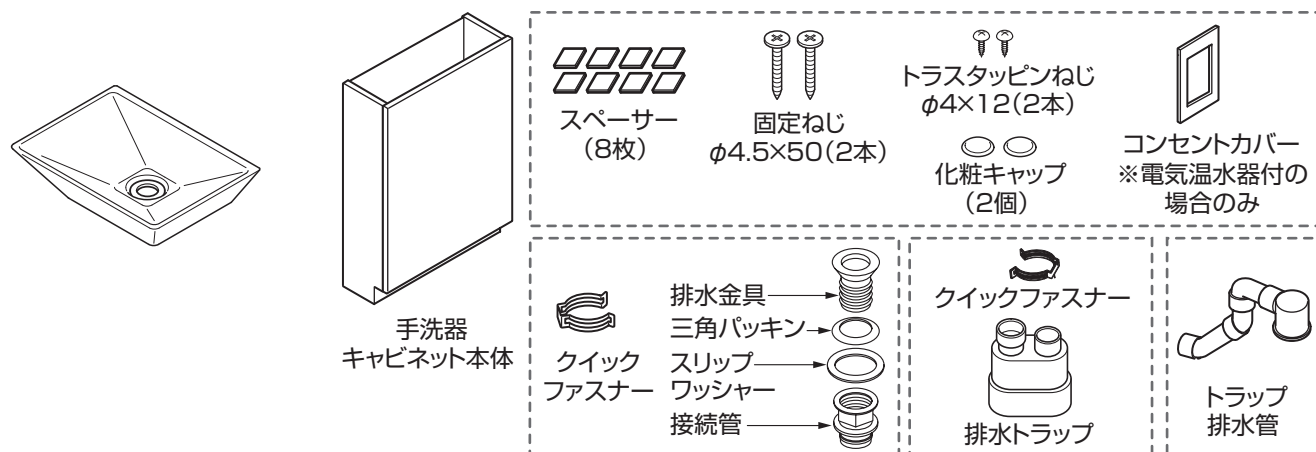
説明書



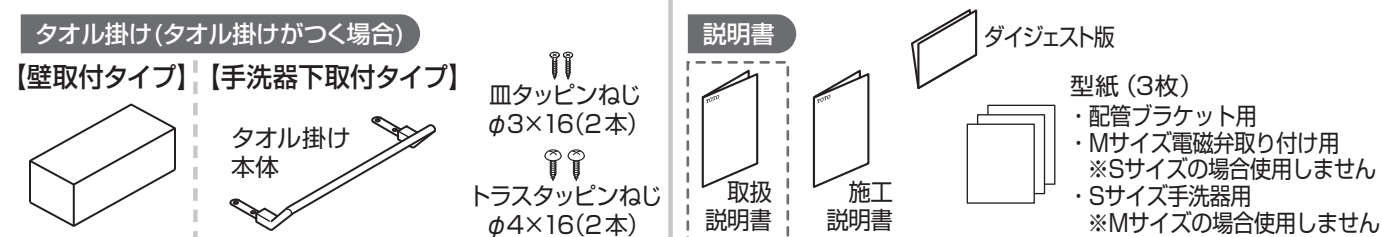
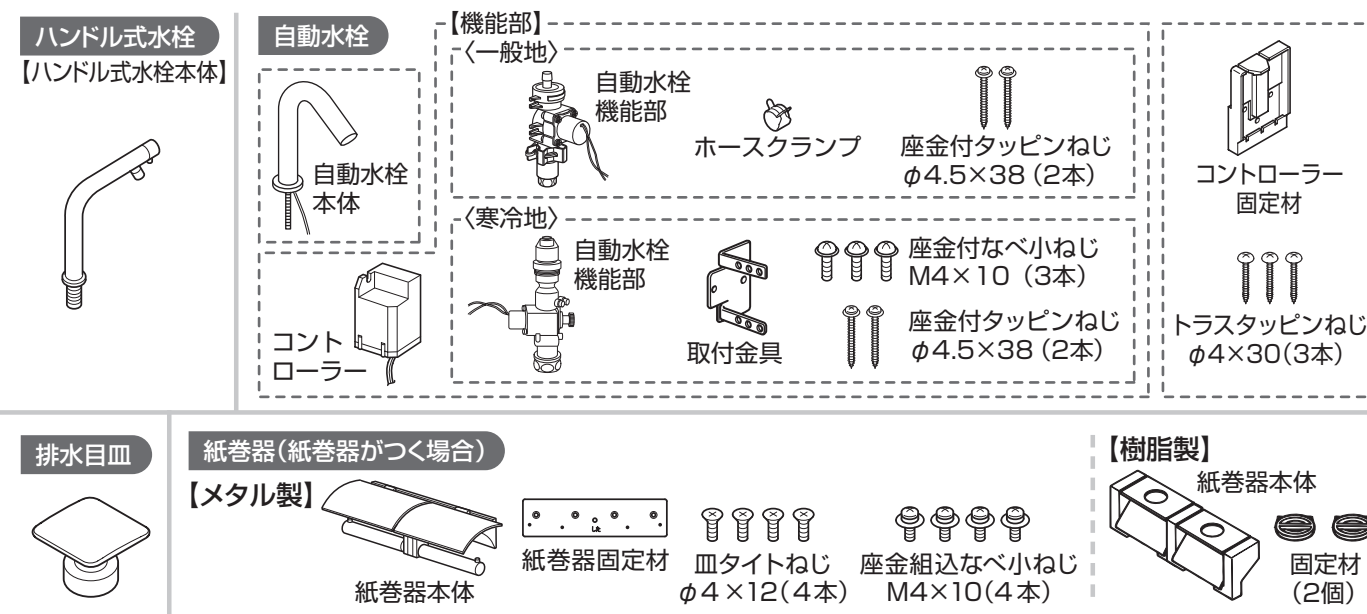
型紙(3枚)
・配管ブラケット用
・Mサイズ電磁弁取り付け用
※Sサイズの場合使用しません
・Sサイズ手洗器用
※Mサイズの場合使用しません

Mサイズ 手洗器

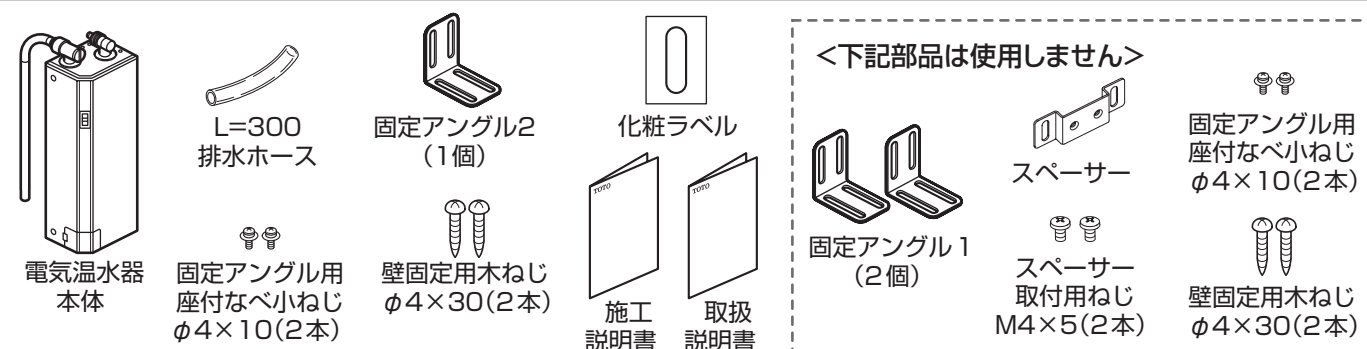
Mサイズ キャビネット



Mサイズ 水栓金具他

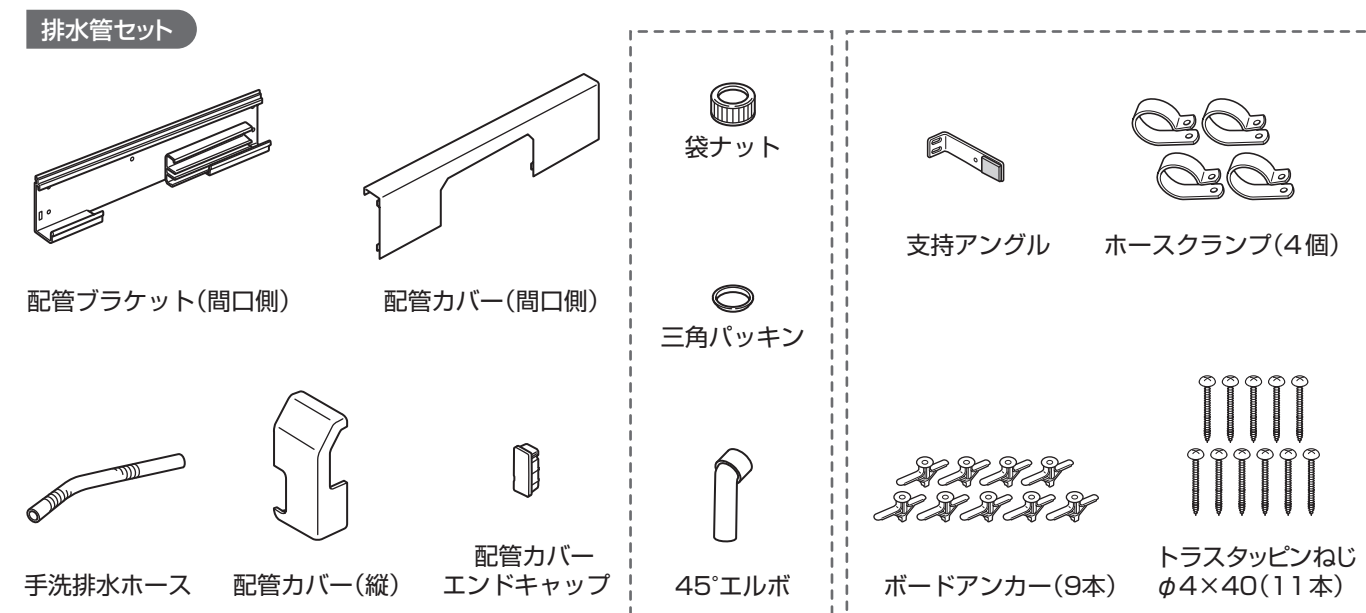
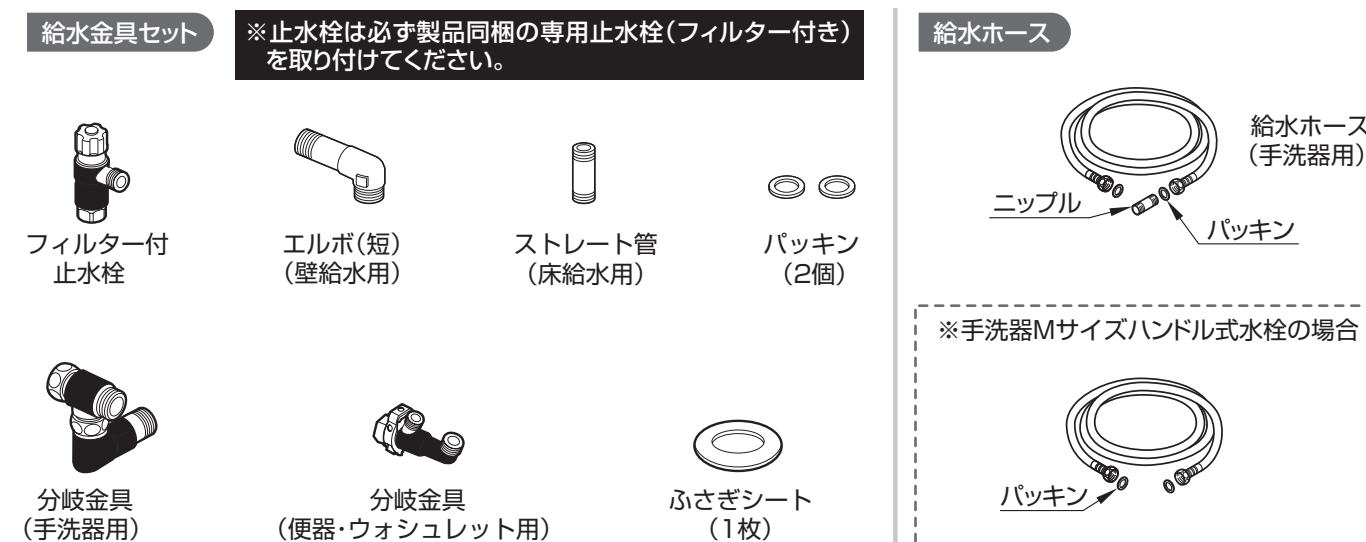
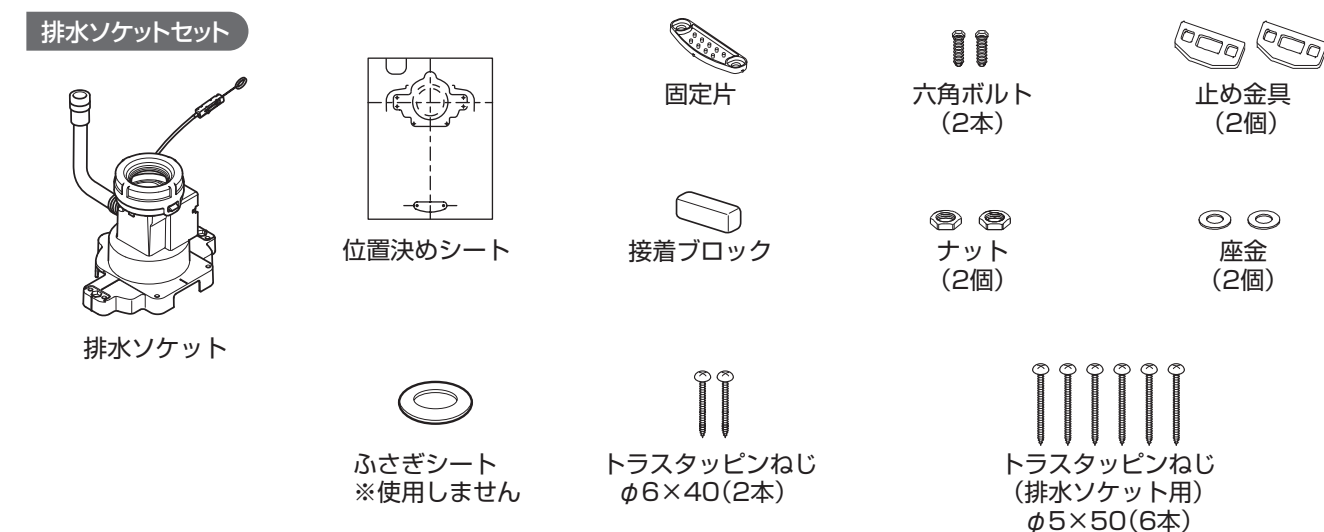


電気温水器(電気温水器付の場合)



排水心200mm

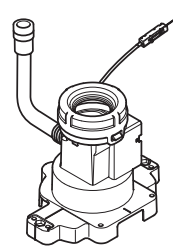
排水ソケットセット他



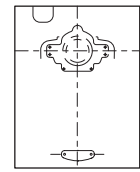
排水心200mmリモデル

排水ソケットセット他

排水ソケットセット



排水ソケット



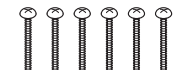
位置決めシート



固定片



接着ブロック

六角ボルト
(2本)止め金具
(2個)ナット
(2個)座金
(2個)ふさぎシート
(給水配管用)トラスタッピンねじ
φ6×40(2本)トラスタッピンねじ
(排水ソケット用)
φ5×50(6本)

給水金具セット

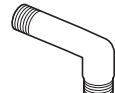
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。



フィルター付止水栓

分岐金具
(便器・ウォシュレット用)

エルボ(短)



エルボ(長)

分岐金具
(手洗器用)

床継手



フランジ



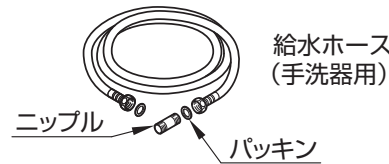
ストレート管

パッキン
(2個)

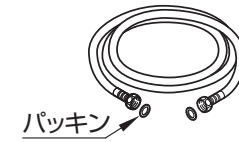
クイックファスナー

なべタッピンねじ
(床継手用)
φ4×30(4本)

給水ホース

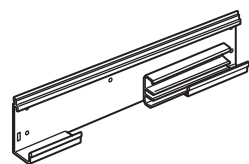
給水ホース(床継手用)
※パッキン付き

※手洗器Mサイズハンドル式水栓の場合

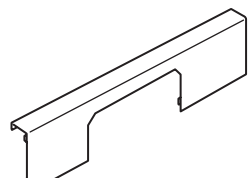


パッキン

排水管セット



配管ブラケット(間口側)



配管カバー(間口側)



袋ナット



三角パッキン



45°エルボ



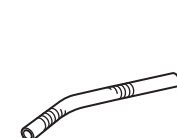
支持アングル



ホースクランプ(4個)



ボードアンカー(9本)

トラスタッピンねじ
φ4×40(11本)

手洗排水ホース



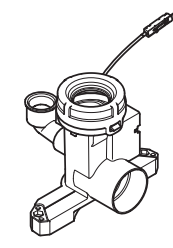
配管カバー(縦)

配管カバー
エンドキャップ

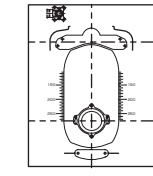
排水心320～540mmリモデル

排水ソケットセット他

排水ソケットセット

便器接続部
(ゴムジョイント付き)

床フランジ接続部

Pシール
(金属フランジ用)

位置決めシート



固定片



接着ブロック

六角ボルト
(2本)ナット
(2個)トラスタッピンねじ
(排水ソケット用)
φ5×50(4本)止め金具
(2個)座金
(2個)Tボルト
(2本)ナット
(2個)

横引管

Pシール
(樹脂フランジ用)ふさぎシート
(給水配管用)トラスタッピンねじ
φ6×40(2本)座金
(2個)

給水金具セット

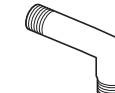
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。



フィルター付止水栓

分岐金具
(便器・ウォシュレット用)

エルボ(短)



エルボ(長)

分岐金具
(手洗器用)

床継手



フランジ



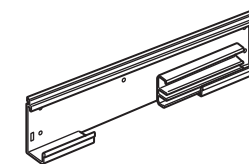
ストレート管

パッキン
(2個)

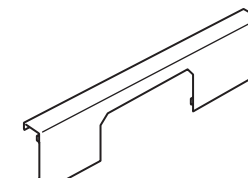
クイックファスナー

なべタッピンねじ
(床継手用)
φ4×30(4本)

排水管セット



配管ブラケット(間口側)



配管カバー(間口側)



配管カバー(縦)



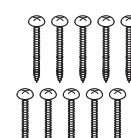
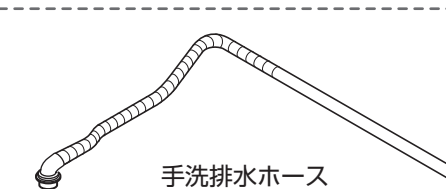
支持アングル



ホースクランプ(4個)



ボードアンカー(9本)

トラスタッピンねじ
φ4×40(11本)

手洗排水ホース

クイック
ファスナー配管カバー
エンドキャップ

MEMO

手順編

1.給水・排水部 ▶20

2.手洗器キャビネット・カウンター	手洗器サイズ	Sサイズ	Mサイズ
		▶25	▶28

3.手洗給水・排水管 ▶31

4.手洗器	手洗器サイズ	Sサイズ	Mサイズ
		▶35	▶39

5.手動レバー ▶43

6.大便器 ▶44

7.ウォシュレット ▶45

8.確認・仕上げ ▶46

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



シールテープを巻いてください。



カットしてください。



ボードアンカーを差し込んでください。



けがきをしてください。



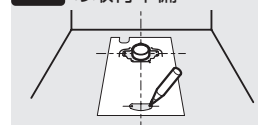
水準器で水平確認してください。

排水心200mm | 排水心200mmリモデル | 排水心320~540mmリモデル

1. 給水・排水部

排水心
200mm
リモデル
排水心
320~540mm
リモデル

1 給水・排水部の取付準備

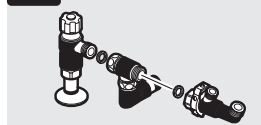


▶ P.20

▶ P.21

▶ P.23

2 給水金具の取り付け

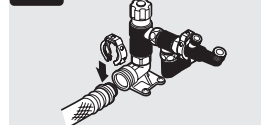


▶ P.20

▶ P.21

▶ P.24

3 給水ホースの接続



▶ P.22

▶ P.22

▶ P.24

3 4 排水ソケット・固定片の取り付け



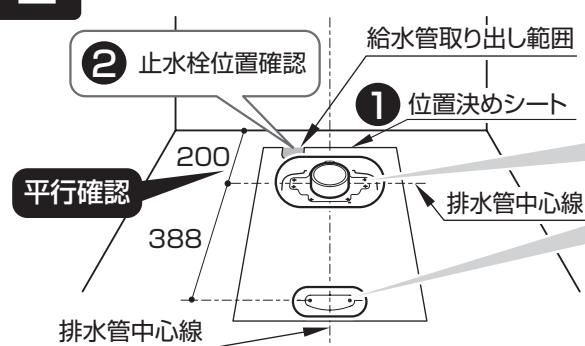
▶ P.21 3

▶ P.23 4

▶ P.24 4

排水心200mm

1 給水・排水部の取付準備



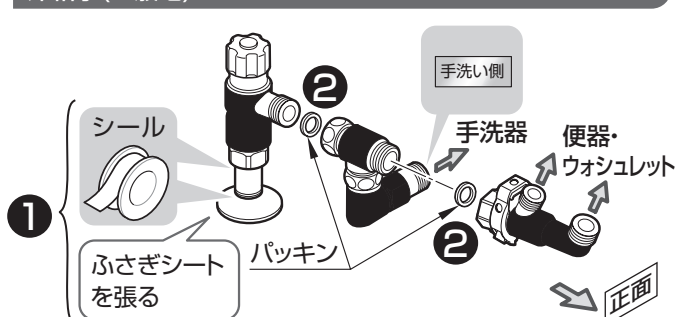
3

けがき → 下穴

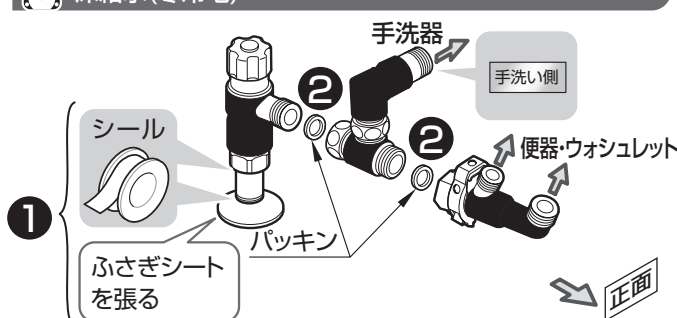
固定片取付穴：2カ所
排水ソケット取付穴：6カ所※タイル・コンクリート床の
場合はコンクリート用
プラグ(現場手配)を打
ち込んでおく※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。
※給水位置が適切でないと、止水栓が製品に干渉することが
あります。

2 給水金具の取り付け ※寒冷地(水抜方式)の場合は床給水のみ

床給水(一般地)



床給水(寒冷地)



注意

止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付けてください設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内
の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・
吐水不良を起こすおそれがあります。

壁給水



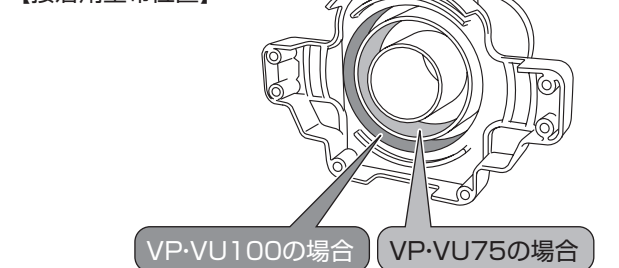
注意

取付方向を
間違えない

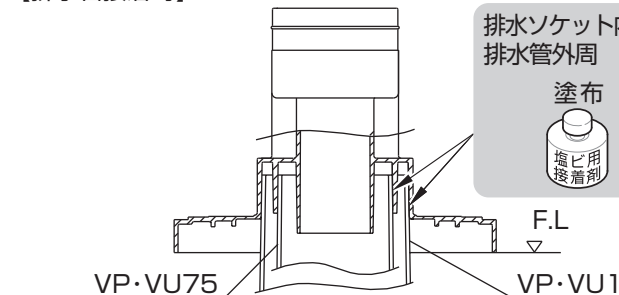
3 排水ソケット・固定片の取り付け

1 接着剤塗布

【接着剤塗布位置】



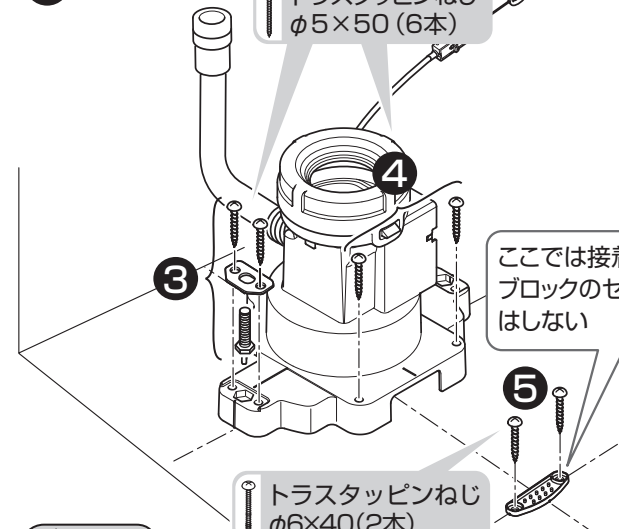
【排水管接着時】



注意

！
必ず守る
接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の
両方の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
のおそれがあります。
また、臭気漏れの原因となります。

2 排水管へ接着

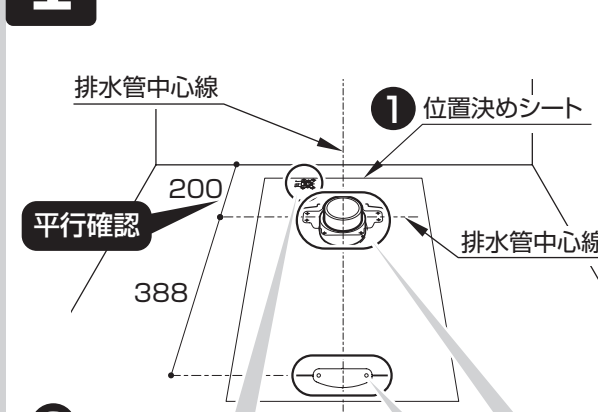


注意

！
必ず守る
排水ソケットは下面が床面にあたるま
で押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの
頭部を確実にめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

排水心200mmリモデル

1 給水・排水部の取付準備

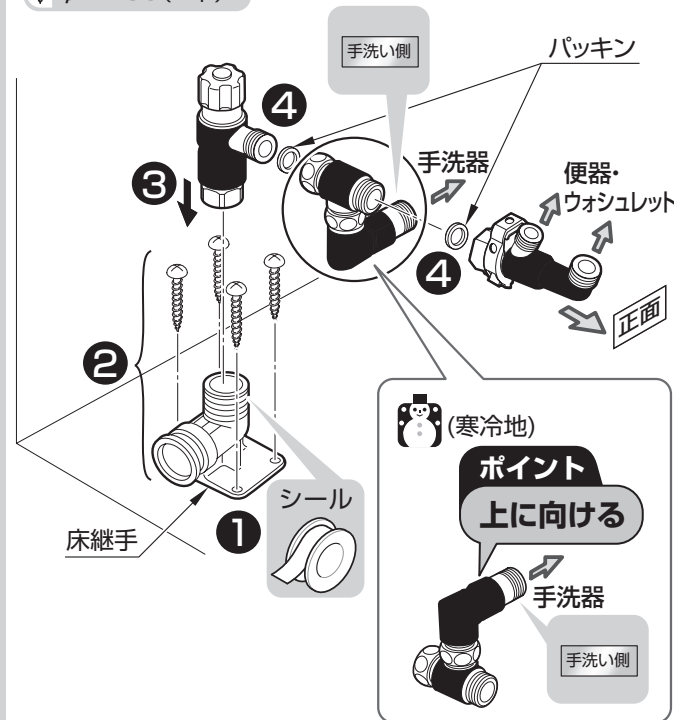


2

けがき → 下穴
固定片取付穴：2カ所
排水ソケット取付穴：6カ所
床継手取付穴：4カ所
※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ
(現場手配)を打ち込んでおく

※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

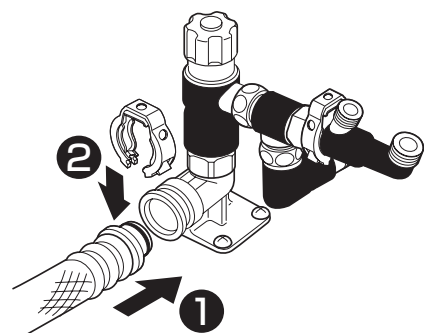
2 給水金具の取り付け

注意
止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付けてください
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内
の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・
吐水不良を起こすおそれがあります。なベタタッピンねじ
φ4×30 (4本)

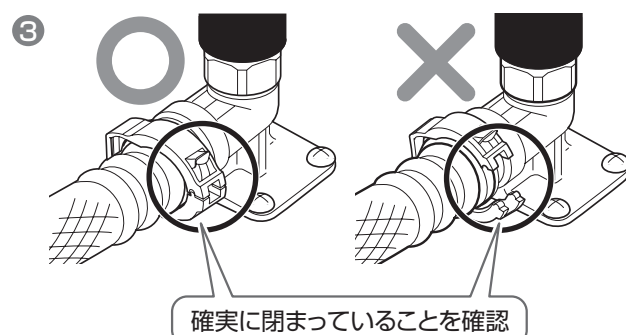
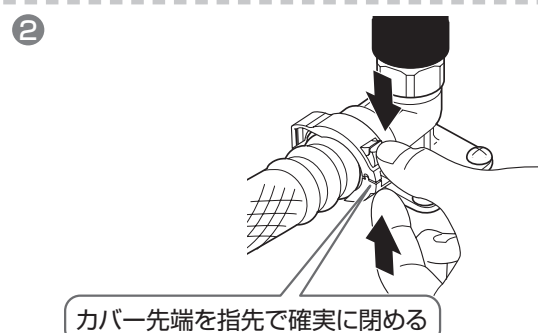
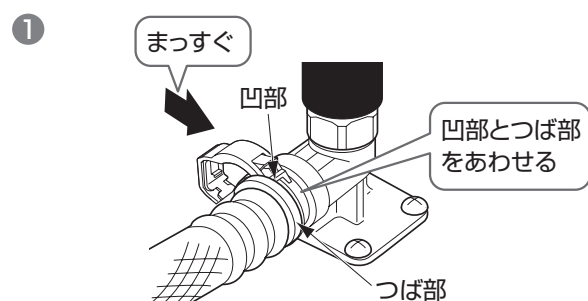
給水・排水部

排水心200mm 排水心200mmリモデル 排水心320~540mmリモデル

3 給水ホースの接続



クイックファスナーの取り付けかた



注意

- 床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
 - クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
 - カバーが閉まらない場合は、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、はすれて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

3 既設の止水栓を取り外す(流用不可)

4 既設の給水管への給水ホースの接続

※図は左勝手。右勝手の場合、給水範囲および使用部材は左右対称になります。

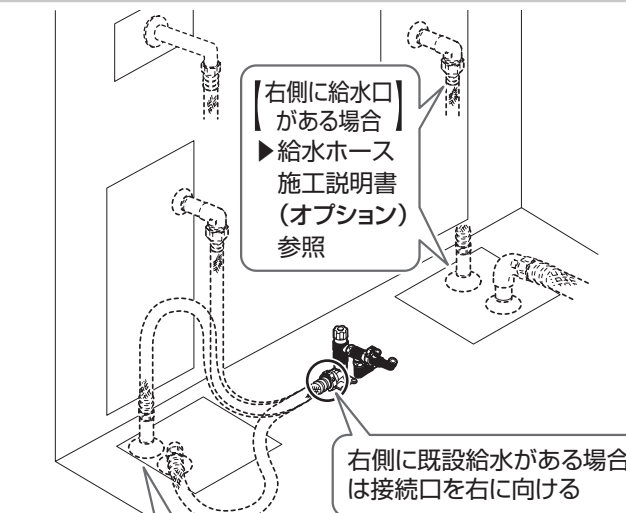
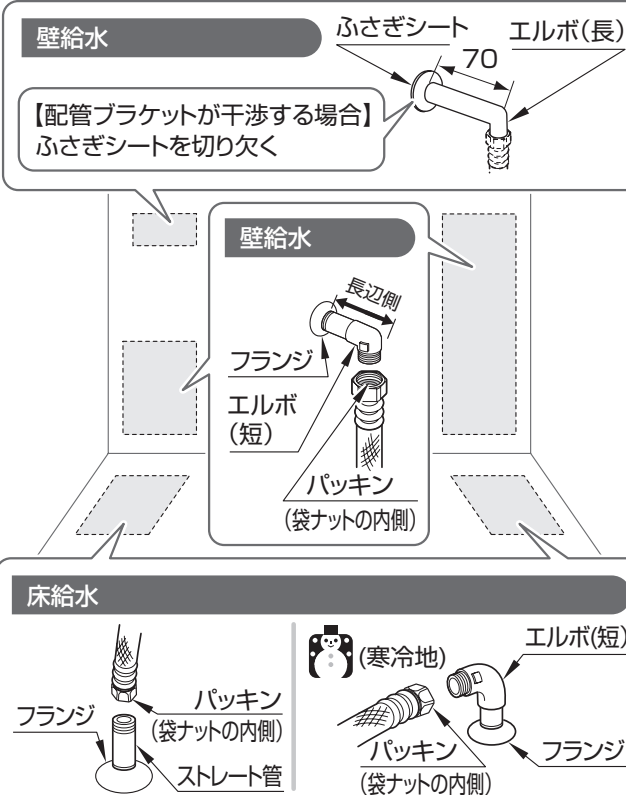
注意

エルボの向きに注意し、ホースが折れ曲らないようにする。

□印側を給水ホースに接続



給水範囲と使用部材



(寒冷地)

注意

エルボを用いて給水ホースが上にとるまないように接続する
水抜き操作時に給水ホースの水が抜けません。
エルボの向きを間違えない
水漏れのおそれがあります。

4 排水ソケット・固定片の取り付け ▶P.21「3 排水ソケット・固定片の取り付け」

排水心320~540mmリモデル

1 給水・排水部の取付準備

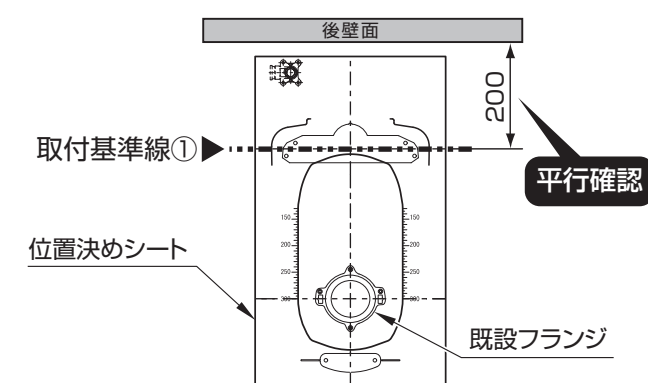
1 既設の便器を外す Pシールを取り除き、既設フランジ中心線を床にけがく

2 横引管の切断

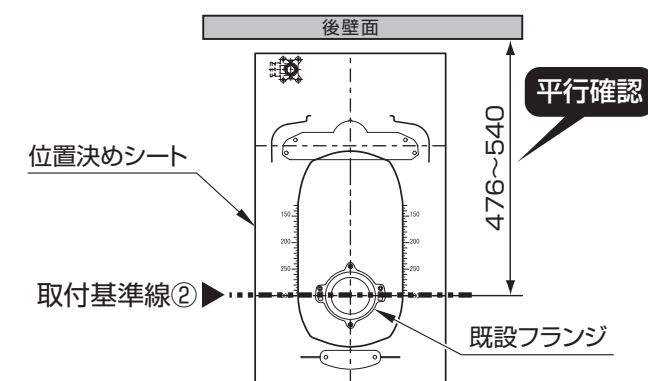
1 位置決めシートの取付基準線①・②を下記位置に合わせて置く

※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。
※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

排水心320~475mmの場合



排水心476~540mmの場合

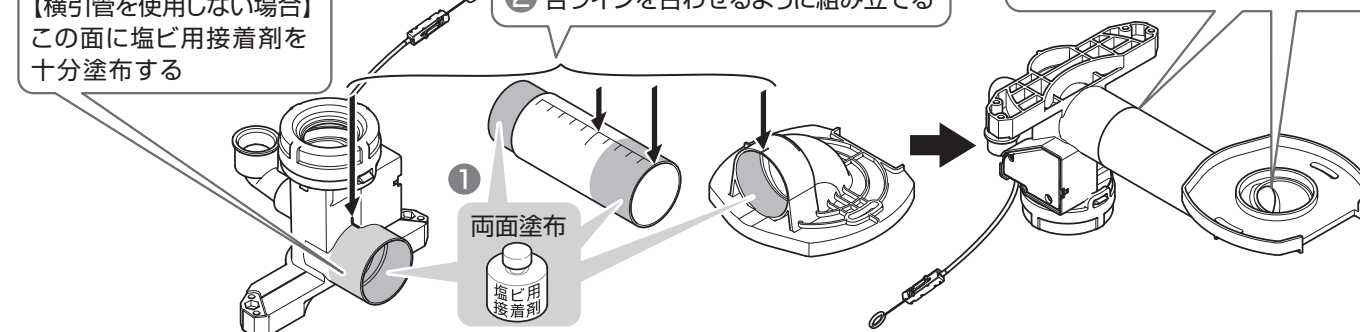


3 排水アジャスターの組み立て

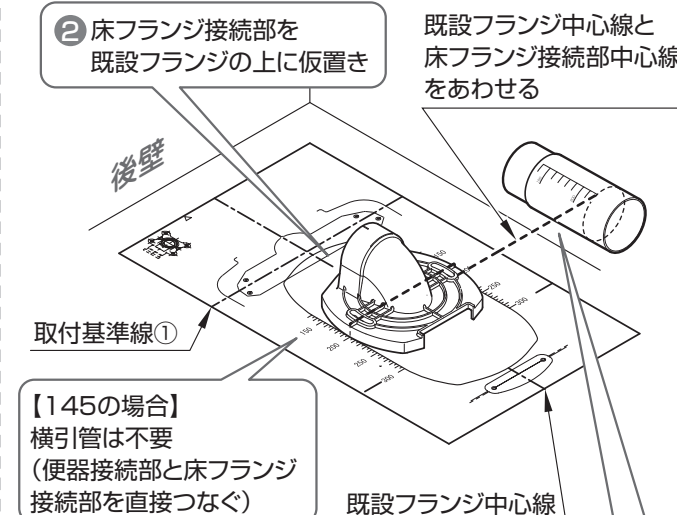
【横引管を使用しない場合】
この面に塩ビ用接着剤を
十分塗布する

2 各ラインを合わせるように組み立てる

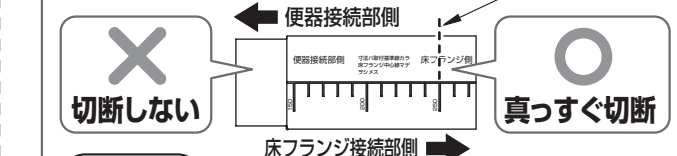
3 この面にあたるまで差し込む



排水心320~475mmの場合



3 同じ目盛り位置で横引管を真すぐに切断する
(例)測定寸法が250mmの場合



切断しない 真すぐに切断
注意 切断後、バリを取り除く
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

排水心476~540mmの場合

便器を前にずらし、横引管を300の目盛り位置で
真すぐに切断する

排水心200mm 排水心200mmリモデル 排水心320~540mmリモデル

注意



必ず守る

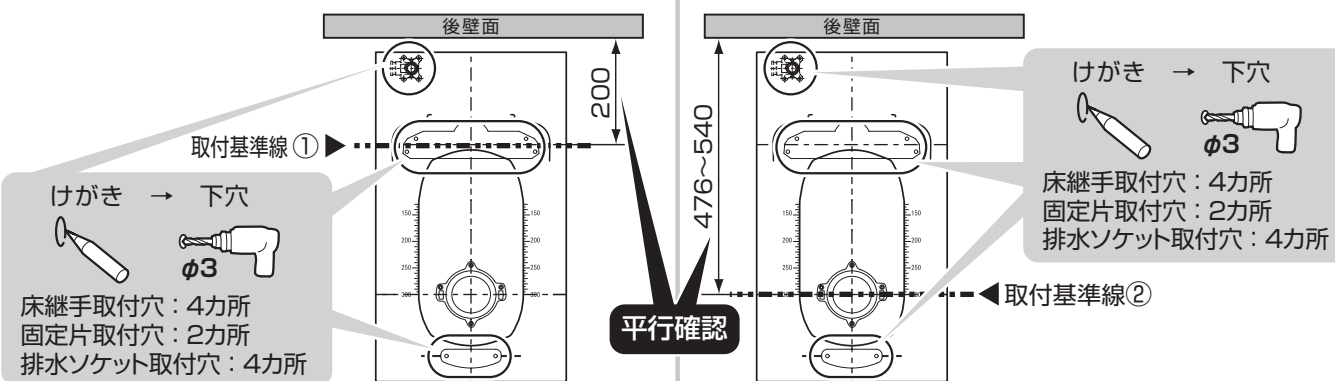
横引管は中心をあわせ、最後まできちんと押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

床面に対してガタツキがないように接着する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

- 4 固定穴あけ ※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおく
※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

排水心320~475mmの場合

排水心476~540mmの場合



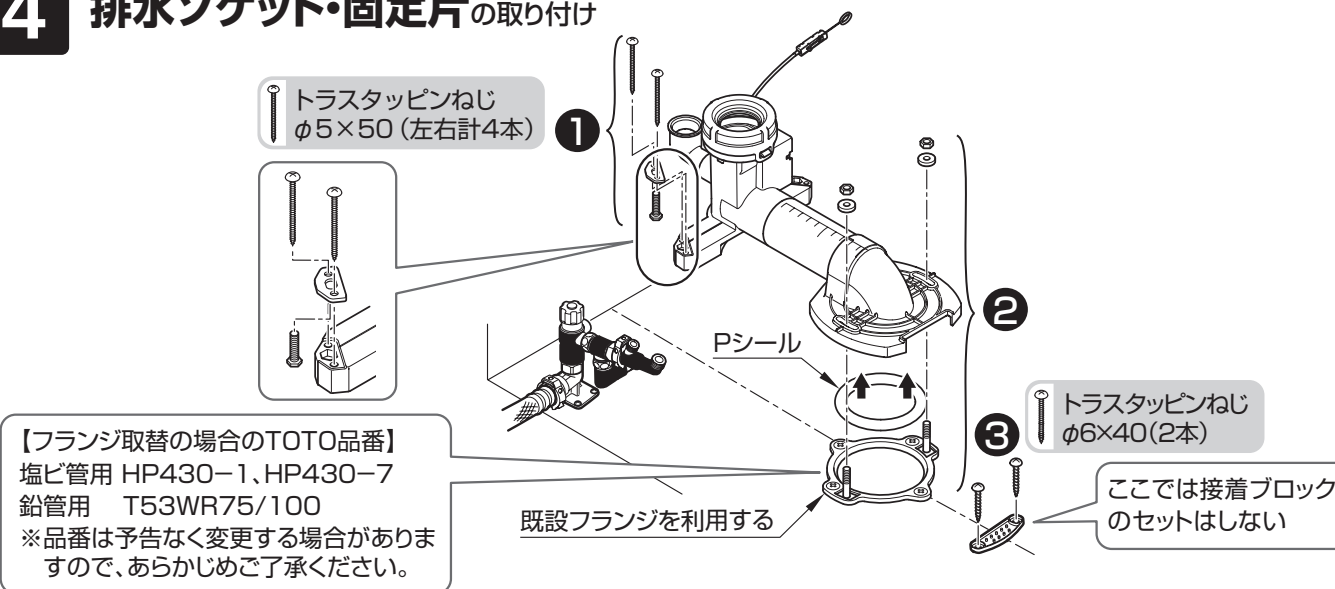
2 給水金具の取り付け

▶P.21「2 給水金具の取り付け」

3 給水ホースの接続

▶P.22「3 給水ホースの接続」

4 排水ソケット・固定片の取り付け



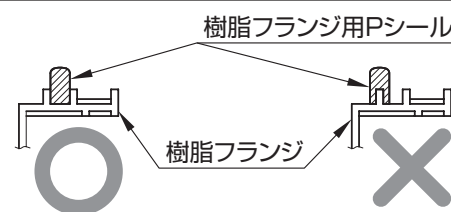
注意



必ず守る

【Pシール取り扱い上の注意】

既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使う
なお、TOTO樹脂フランジのように溝のあるタイプは先にフランジの溝にPシールをセットする
溝にきちんとおさまっていないと水漏れするおそれがあります。



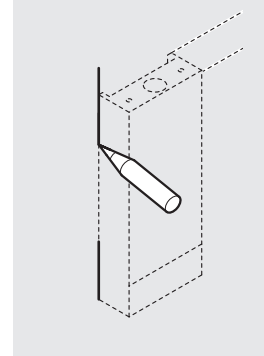
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
便器ががたつくおそれがあります。

手洗器 S サイズ

2-S.手洗器キャビネット・カウンター

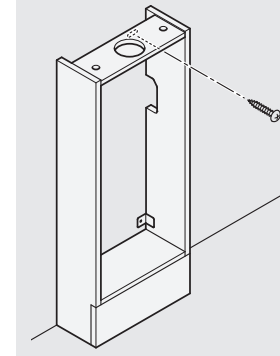
「手洗器Mサイズ」の場合 P.28を参照してください。

1 取付位置のけがき



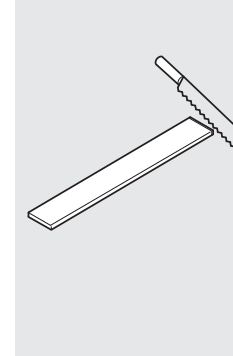
▶P.25

2 手洗器キャビネットの仮固定



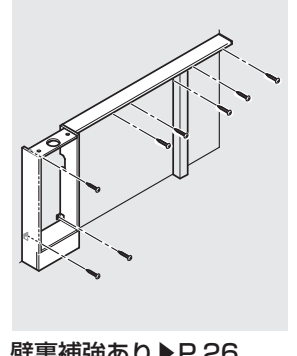
▶P.25

3 カウンター類の加工



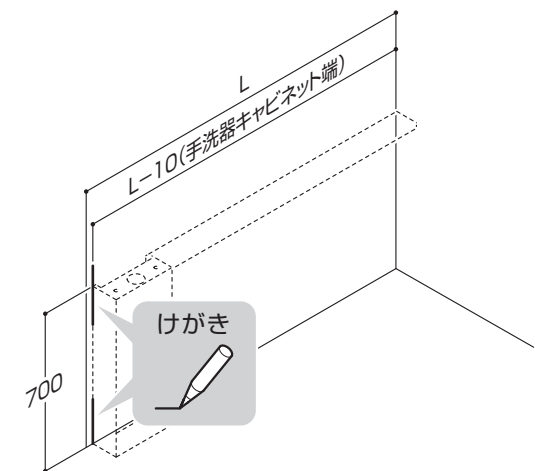
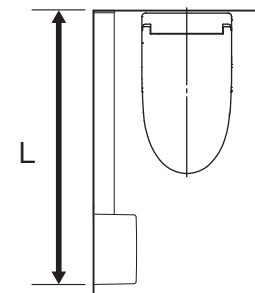
▶P.26

4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け

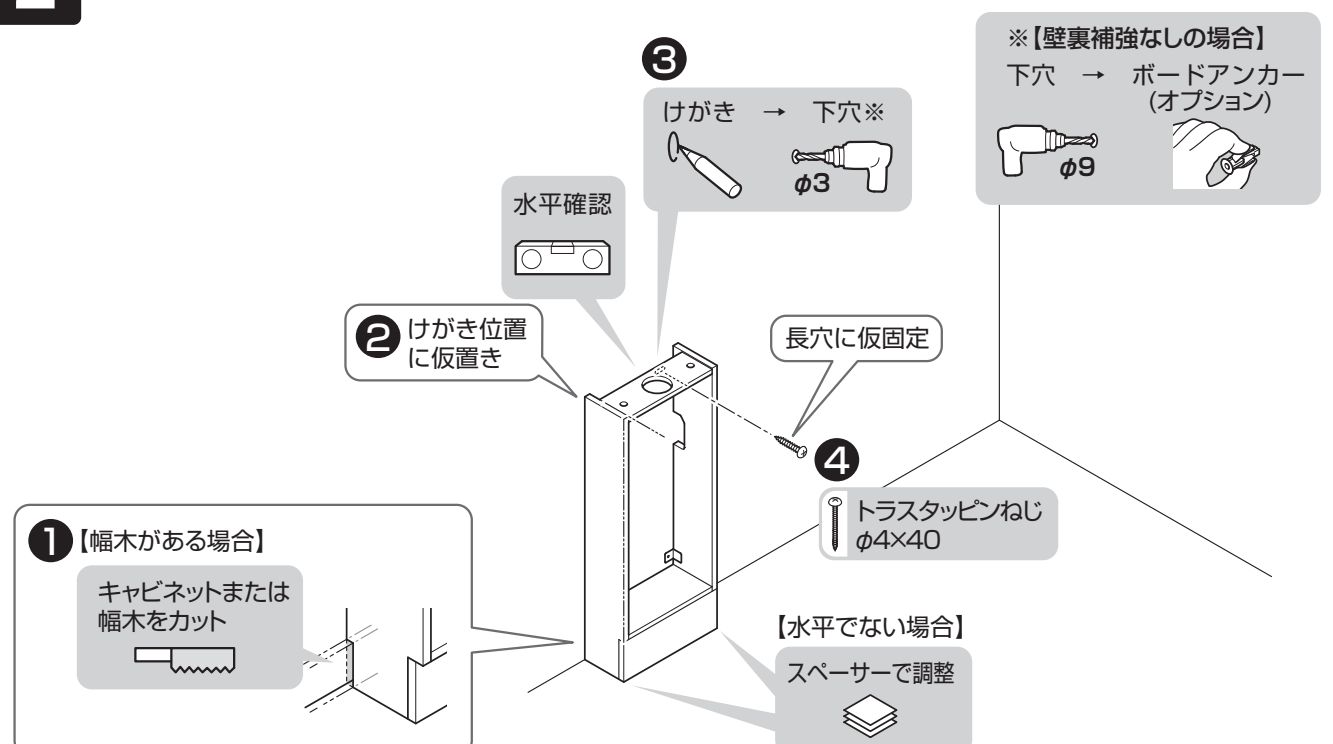
壁裏補強あり▶P.26
壁裏補強なし▶P.27

1 取付位置のけがき

寸法Lの測定範囲



2 手洗器キャビネットの仮固定



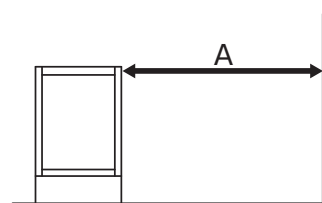
Sサイズ

Mサイズ

3 カウンター類の加工

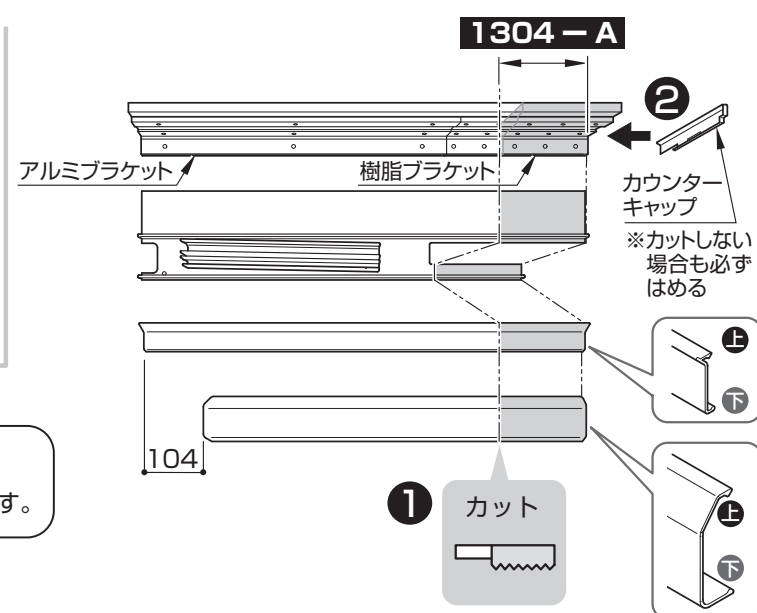
カウンターをカットする場合

後壁・キャビネット間の寸法A測定範囲



注意

！ 必ず守る
カットした面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

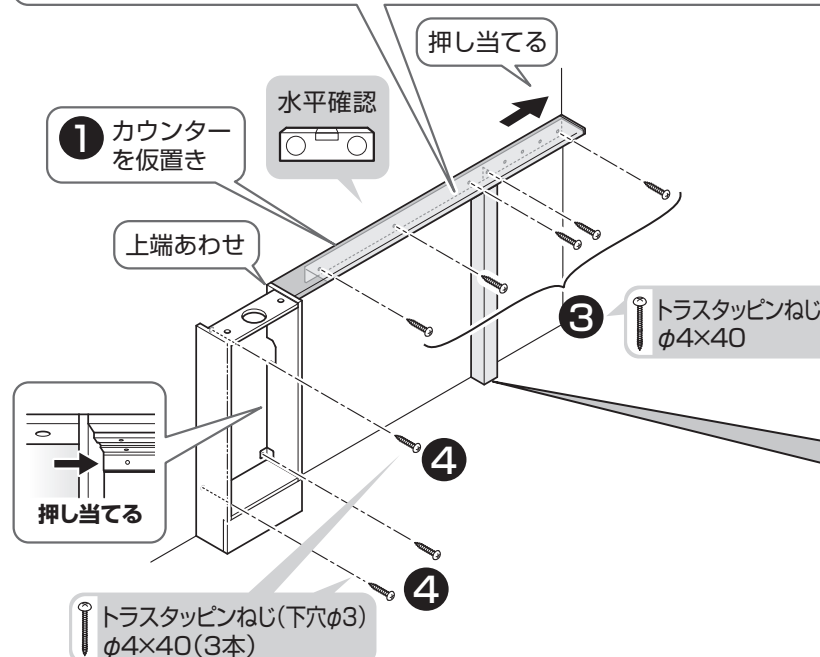
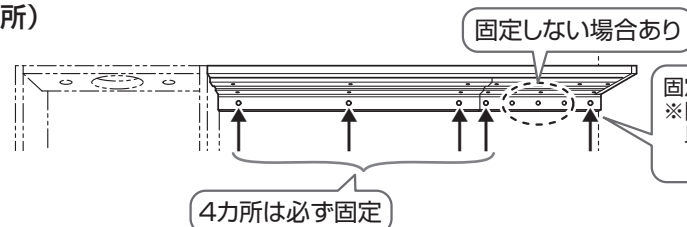


4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け

壁裏補強ありの場合

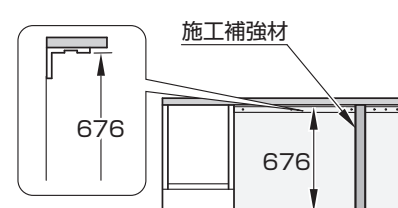
壁裏補強なしの場合は、P27を参照してください。

2 ↑部分 (4~5カ所)

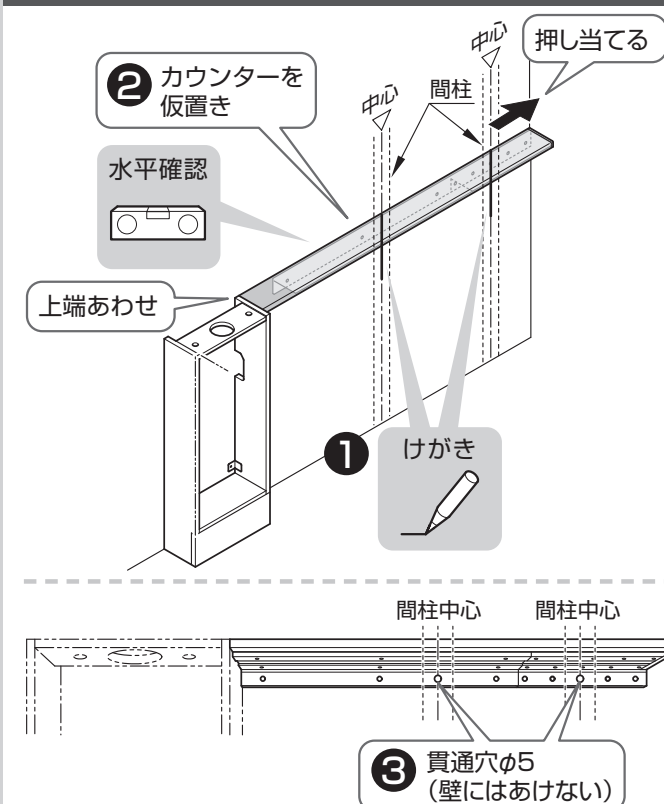


ポイント

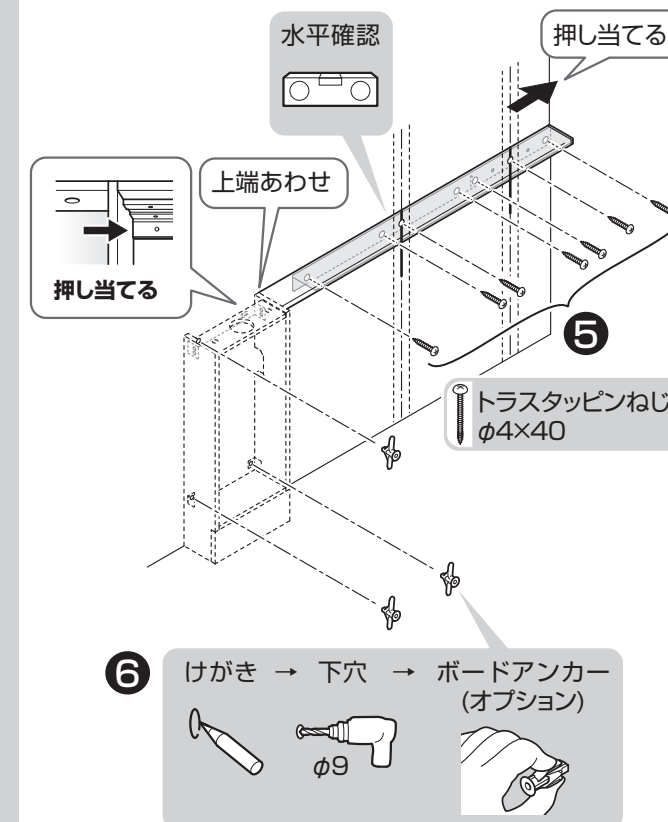
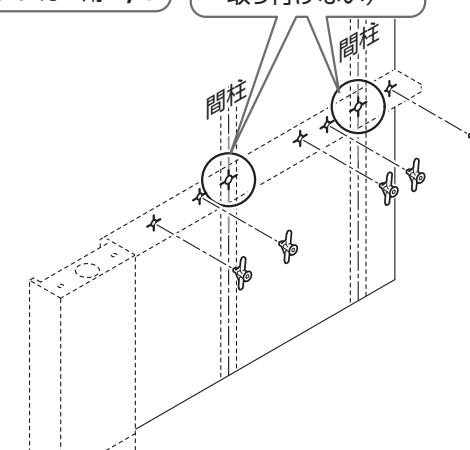
施工補助材(現場手配)を用いると作業しやすい



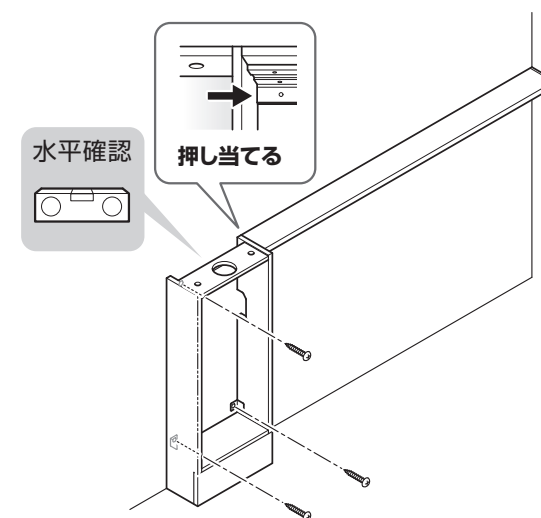
壁裏補強なしの場合



4 けがき → 下穴 → ボードアンカー (オプション)



7 トラスタッピンねじ φ4×40(3本)



MEMO

手洗器 M サイズ

2-M.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合
P.25を参照してください。電気温水器付
の場合1 手洗器キャビネット
の加工

▶P.28

2 手洗器キャビネットの仮固定

▶P.28

3 カウンター類
の加工

▶P.29

4 手洗器キャビネット・
カウンターの
取り付け

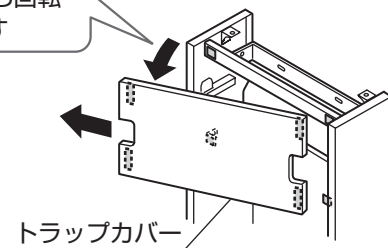
壁裏補強あり▶P.29 壁裏補強なし▶P.30

5 手洗器キャビネットと
カウンターの連結

▶P.30

ポイント

あらかじめ扉を外しておく作業しやすい

包装材を取った後、丁番側
(扉)を押さえながら回転
させるようにはずす

トラップカバー

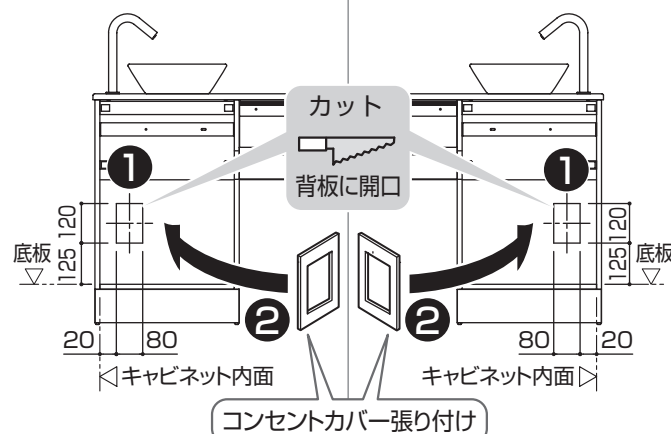
電気温水器付の場合

1 手洗器キャビネットの加工

コンセント用 穴加工

【左勝手】

【右勝手】



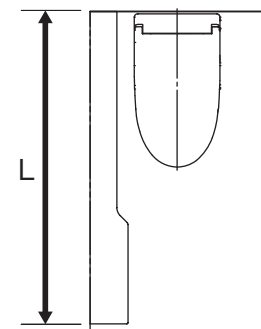
カット

背板に開口

コンセントカバー張り付け

2 手洗器キャビネットの仮固定

寸法Lの測定範囲

固定ねじ
φ4.5×503 けがき位置
に仮置き

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

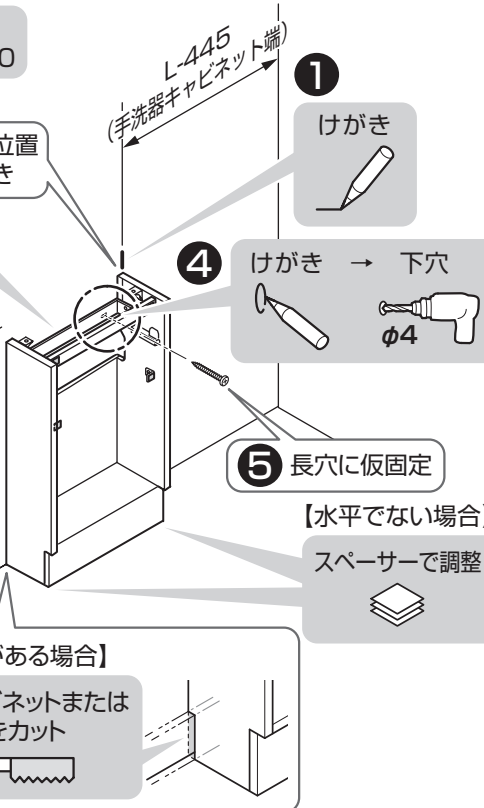
水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

水平確認

L-445
(手洗器キャビネット端)

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

けがき

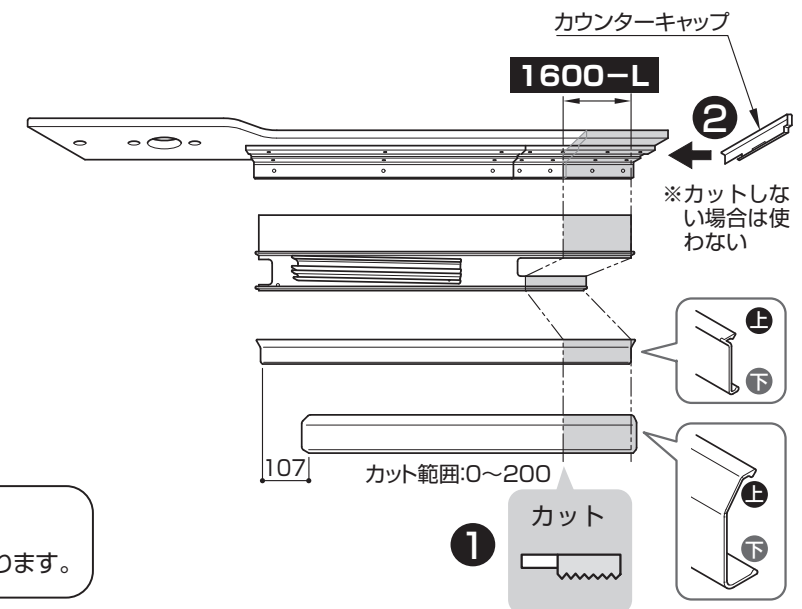
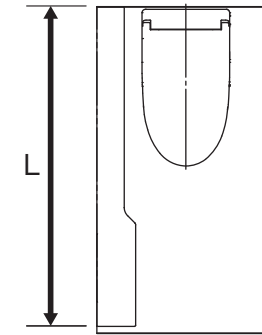
けがき

けがき

けがき

3 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合

寸法Lの
測定範囲

注意

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

必ず守る

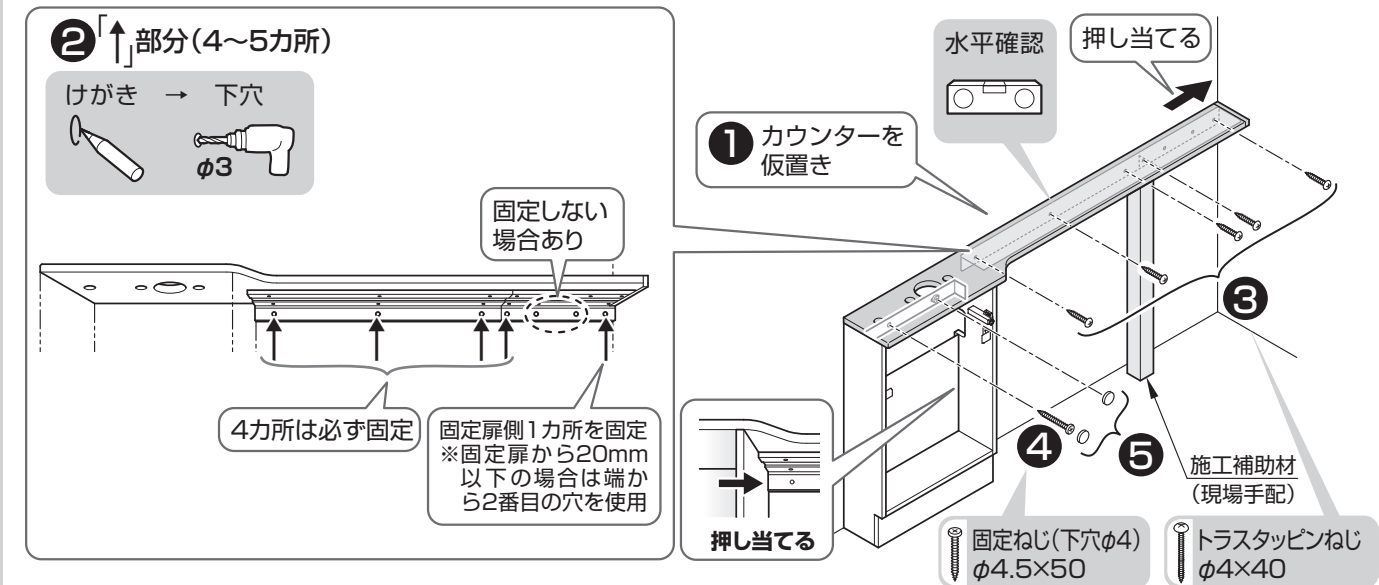
必ず守る

必ず守る

4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け

壁裏補強ありの場合

壁裏補強なしの場合は、P.30を参照してください。



2 部分(4~5カ所)

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

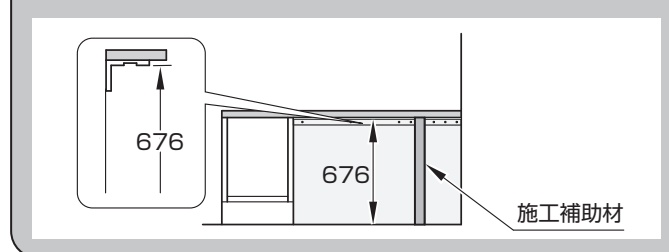
けがき → 下穴

けがき → 下穴

けがき → 下穴

ポイント

施工補助材(現場手配)を用いると作業しやすい

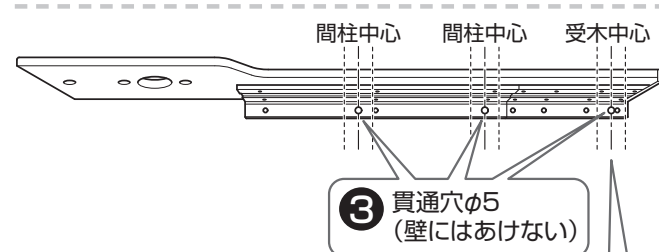
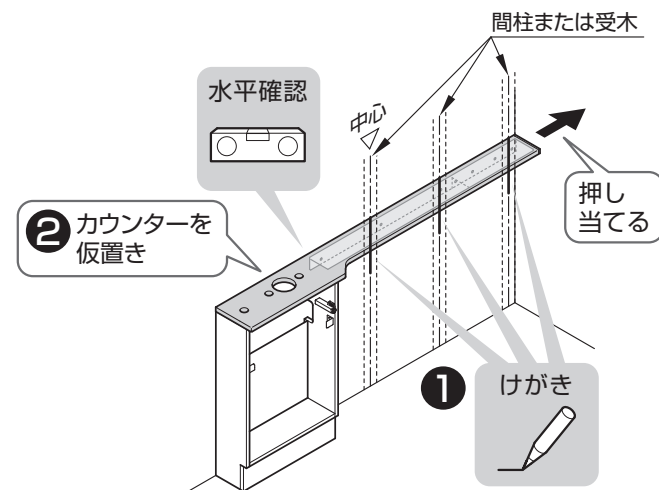


施工補助材

Sサイズ

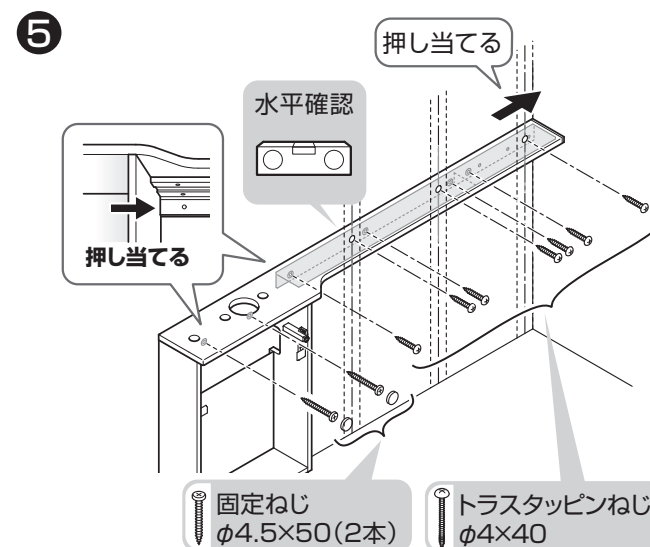
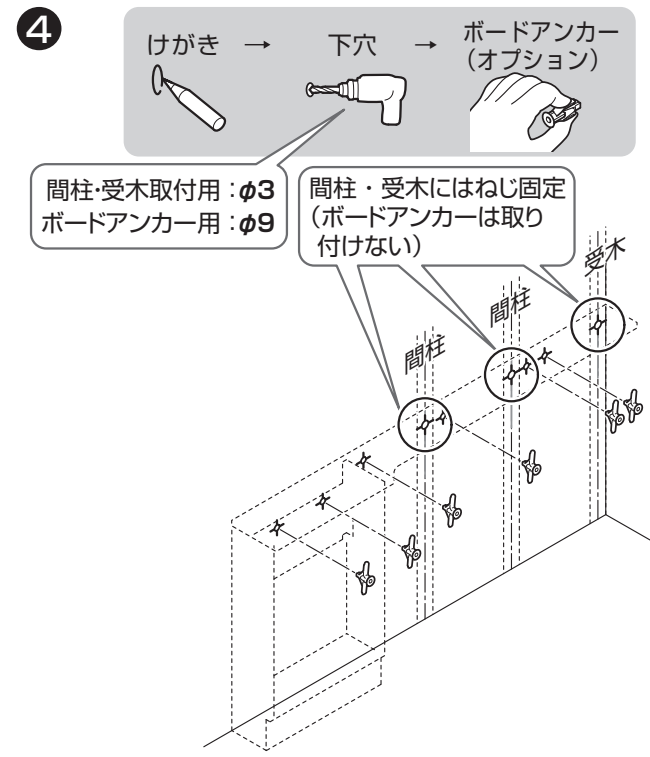
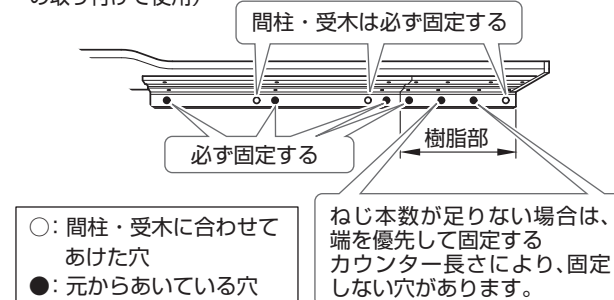
Mサイズ

壁裏補強なしの場合



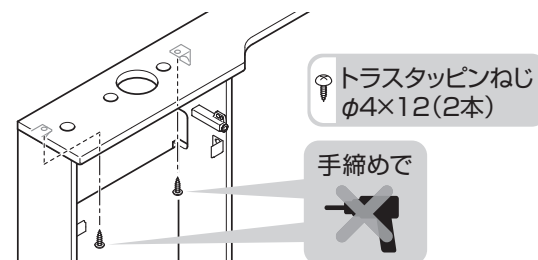
【固定位置について】

ねじは7本まで使用してください。
(3本は ③手洗給水・排水管 ① 配管ブラケット(カウンター側)の取り付けで使用)



壁裏補強ありなし共通

5 手洗器キャビネットとカウンターの連結

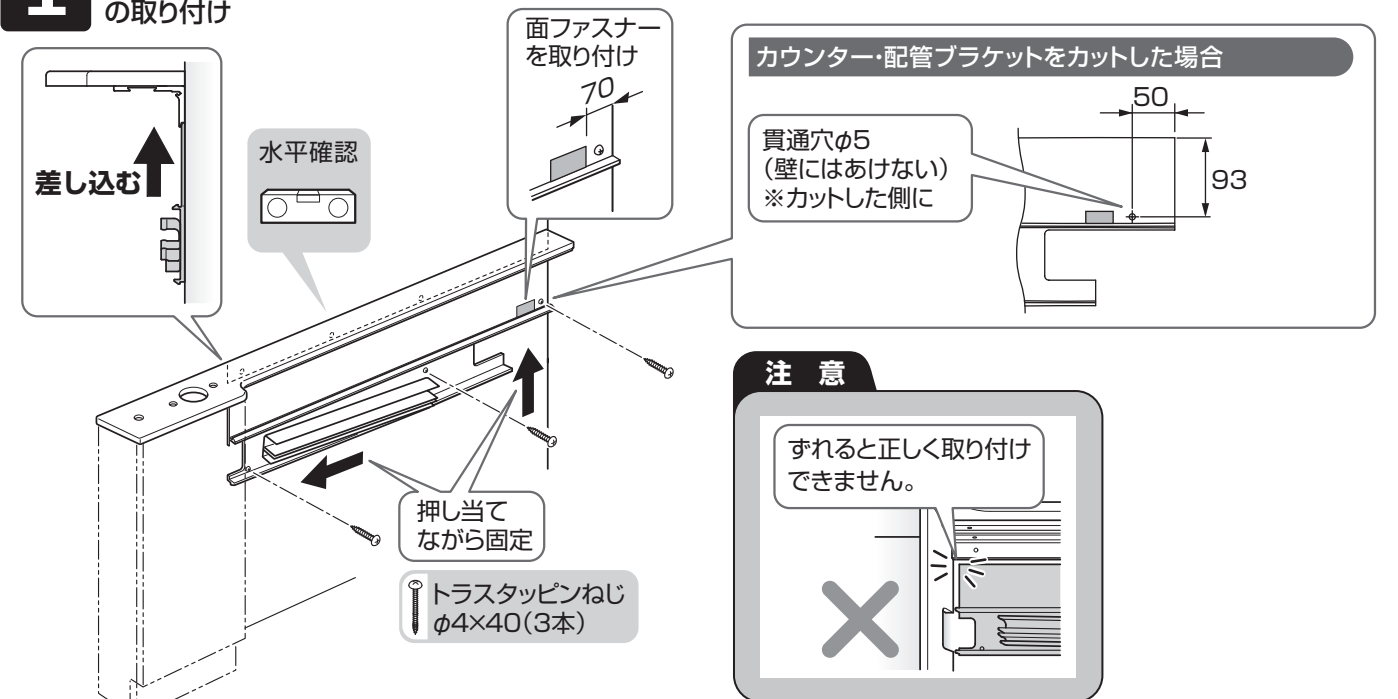


3.手洗給水・排水管

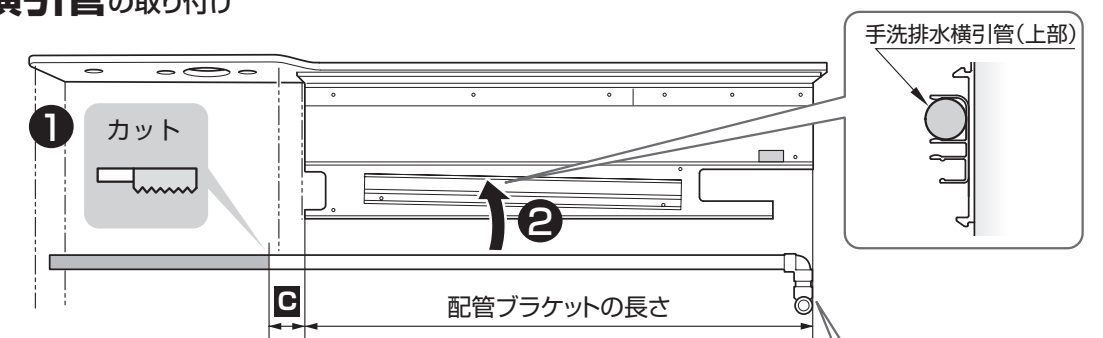
※図はMサイズです。Sサイズも同様です。



1 配管ブラケット(カウンター側)の取り付け



2 手洗排水横引管の取り付け



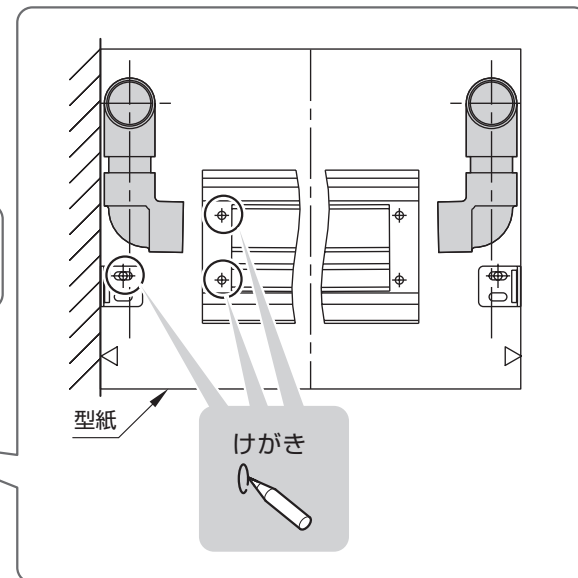
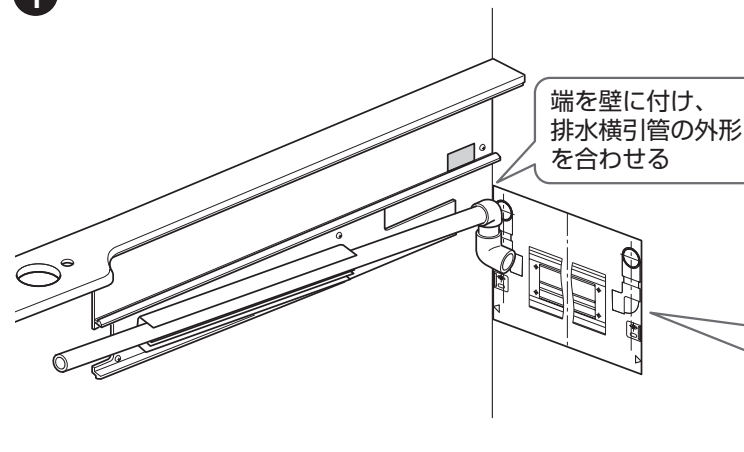
注意

ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

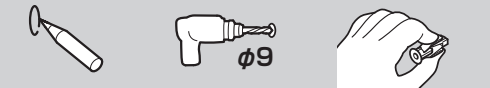
		C
Sサイズ	左勝手	41
	右勝手	41
Mサイズ	左勝手	101
	右勝手	101

奥壁と横壁に
すき間なく沿わせる

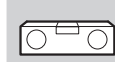
排水心200mm | 排水心200mmリモデル | 排水心320~540mmリモデル

3 配管ブラケット(間口側)の取り付け**1****2**

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



水平確認



※【下地が合板の場合】

下穴

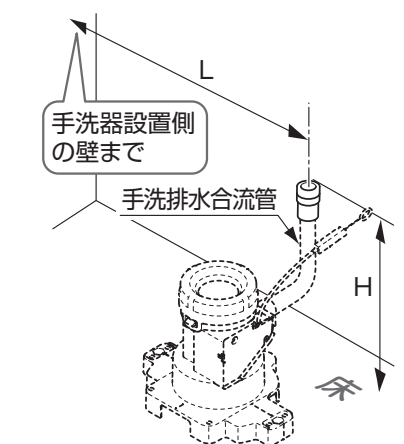


※ボードアンカーは使用しない

手締めで

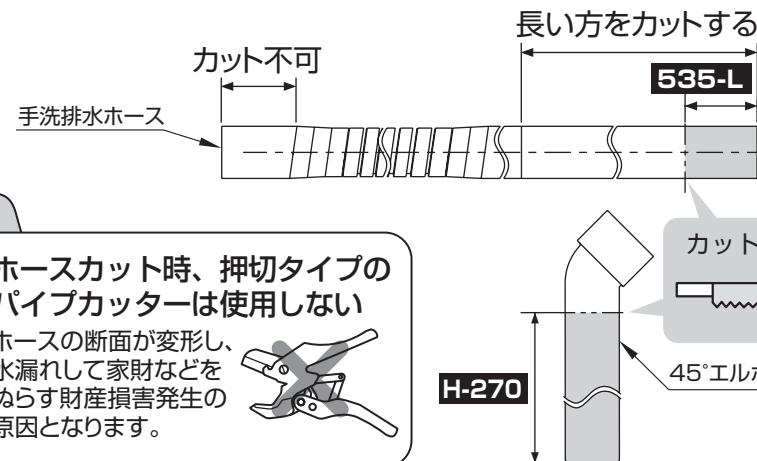
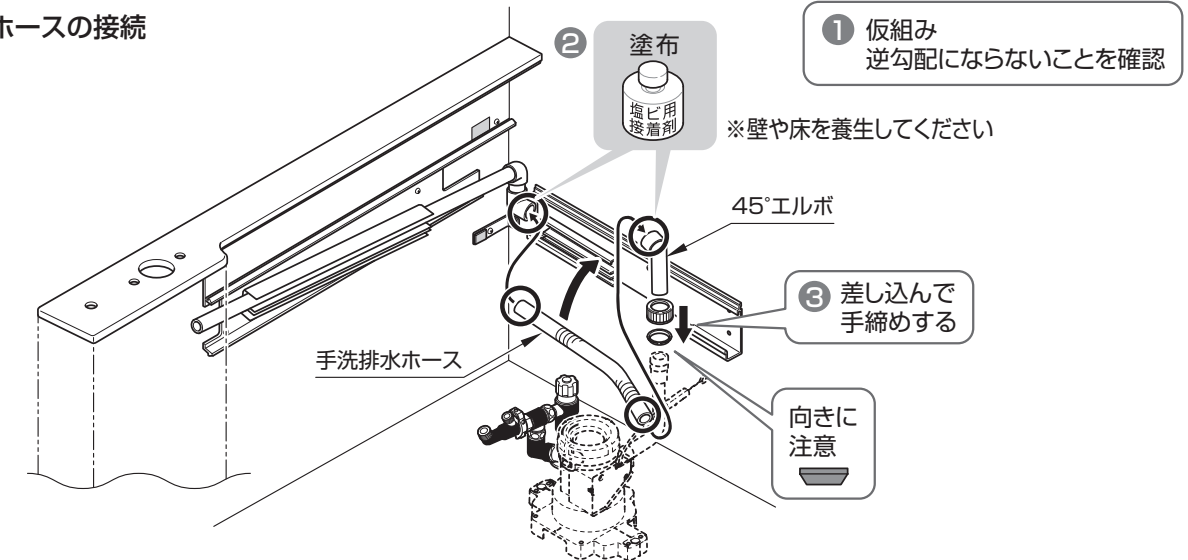
トラスタッピンねじ
φ4×40(7本)**3****4 手洗排水ホースの接続**

排水心200mm・排水心200mmリモデル

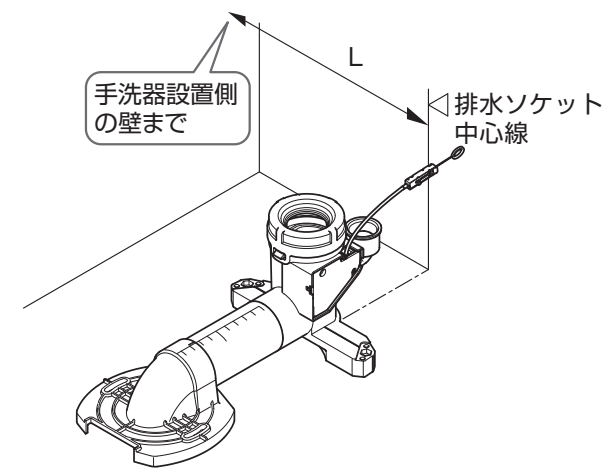
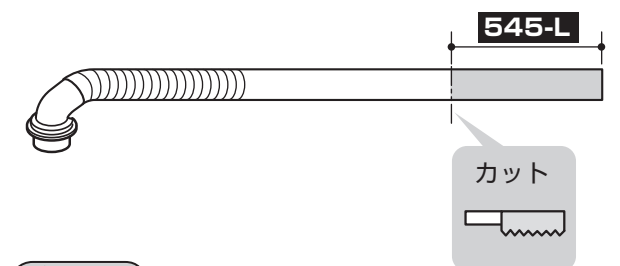
寸法H・Lの測定範囲**1 手洗排水ホース(間口側)・45°エルボのカット****注意**

ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

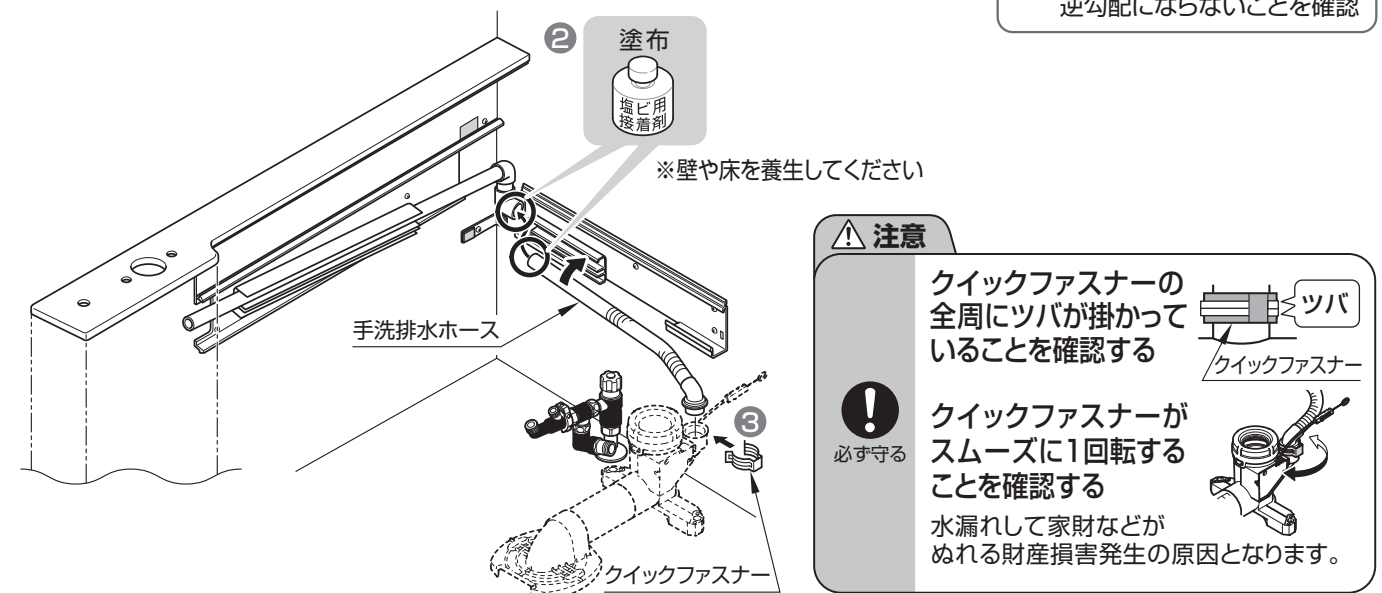
**2 手洗排水ホースの接続**

排水心320mm~540mmリモデル

寸法Lの測定範囲**1 手洗排水ホースのカット****注意**

ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

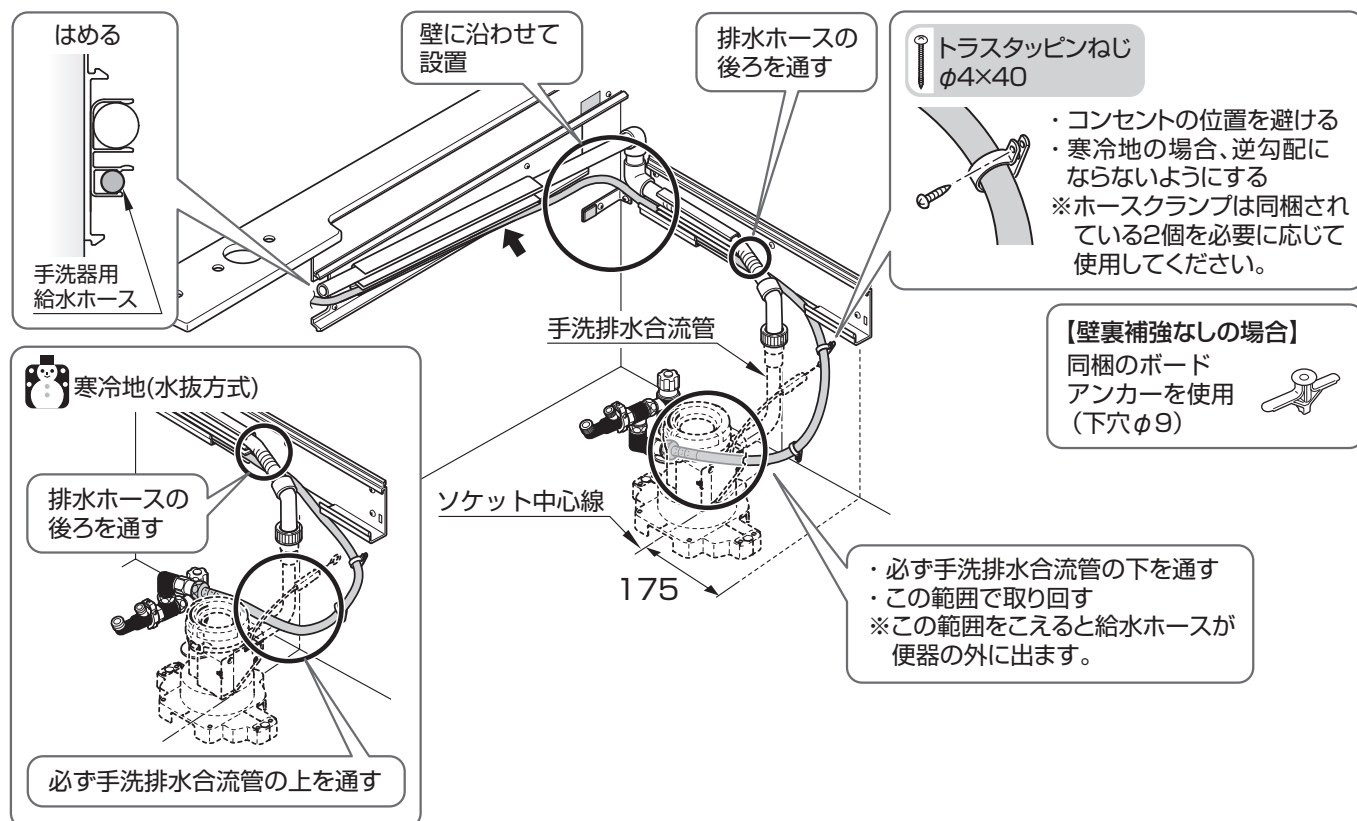
2 手洗排水ホースの接続**注意**

クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。

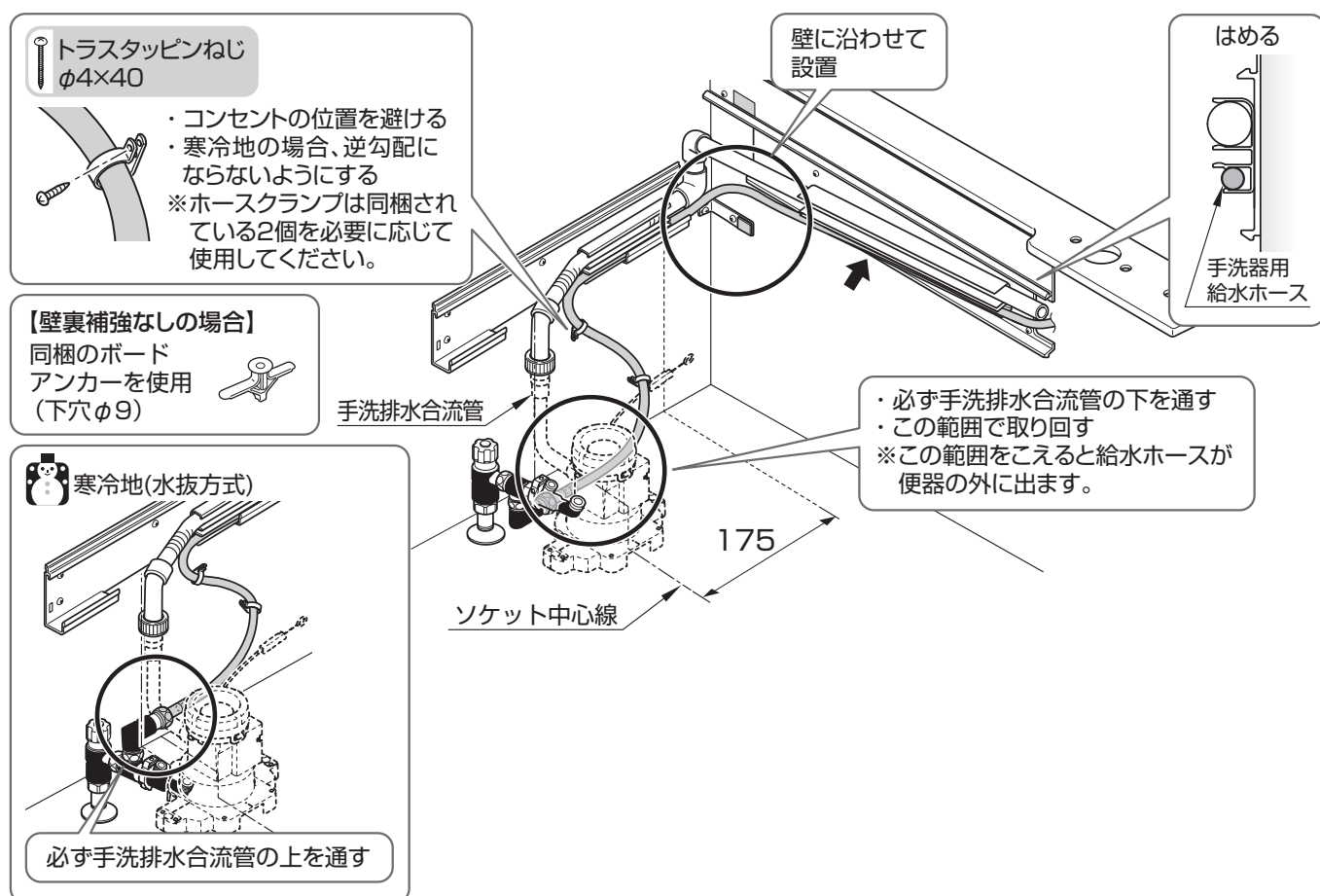
必ず守る

5 手洗給水ホースの接続

左勝手



右勝手



手洗器 S サイズ

4-S.手洗器

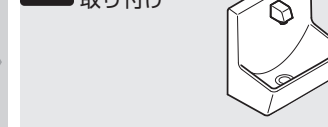
「手洗器Mサイズ」の場合
P.39を参照してください。

1 排水金具の取り付け



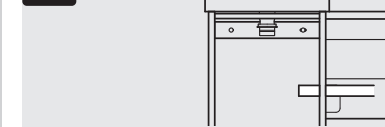
▶ P.35

2 手洗器の取り付け



▶ P.35

3 手洗器排水ホースの仮組み



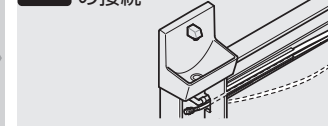
▶ P.36

4 排水トラップの取り付け



▶ P.36

5 手洗器用給水ホースの接続



▶ P.37

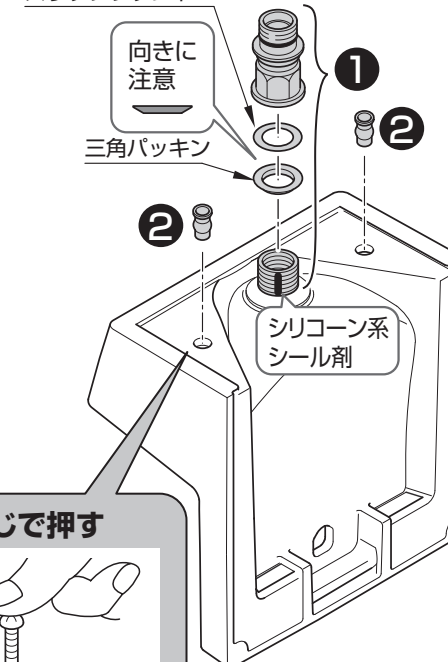
6 タオル掛け(手洗器下取付タイプ)の取り付け



▶ P.38

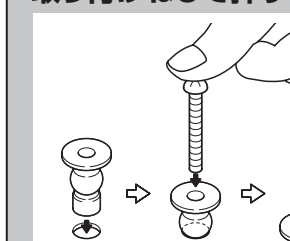
1 排水金具の取り付け

スリップワッシャー



ポイント

取り付けねじで押す



注意



必ず守る

排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール剤を塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



禁止

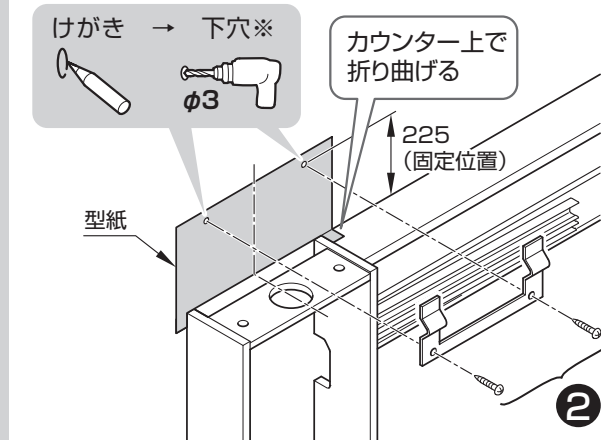
接続管を締め過ぎない

排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)

2 手洗器の取り付け

トラスタッピンねじ φ4×30(2本)

1



※【下地が石膏ボードの場合】
下穴 → ボードアンカー (オプション)



φ9

4

手洗器

3

手洗給水・排水管

Sサイズ

Mサイズ

警告



クッション材の張り付けは確実に行う
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

必ず守る

※図は自動水栓の場合

手洗器をキャビネットの中心にあわす

4 固定金具に差し込む

3 クッション材の取り付け

トラスタッピンねじ
φ4×14(3本)
※自動水栓の場合

手締めで

トラス小ねじ
M5×54(2本)

回らなくなるまで締め付ける

コントローラー固定材取付位置

【左勝手】

【右勝手】

自動水栓の場合

一般地用の場合

【左勝手】

【右勝手】

けがき
(2カ所)

φ3

※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)

φ9



寒冷地用の場合

【左勝手】

【右勝手】

けがき
(2カ所)
φ3※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)
φ9

3 手洗器排水ホースの仮組み

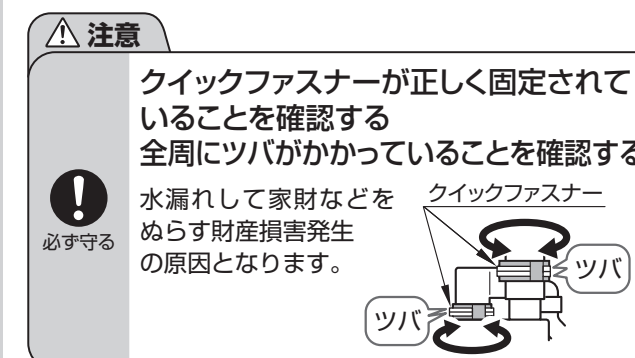
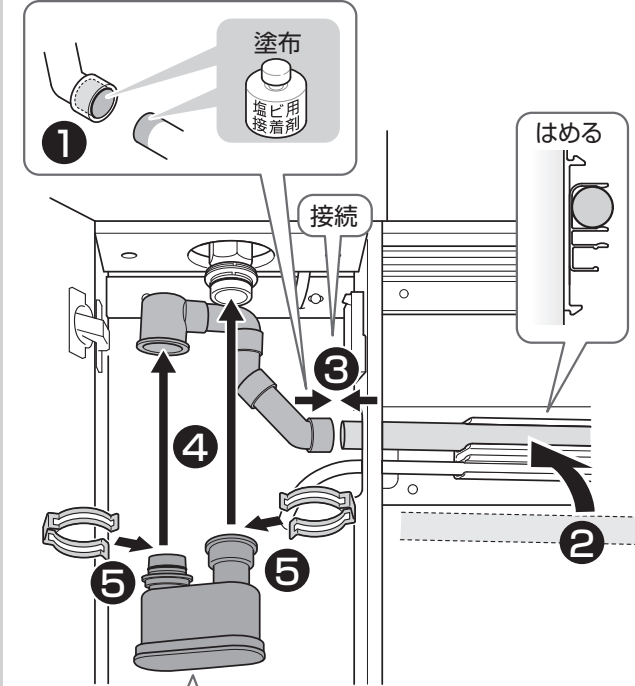


4 排水トラップの取り付け

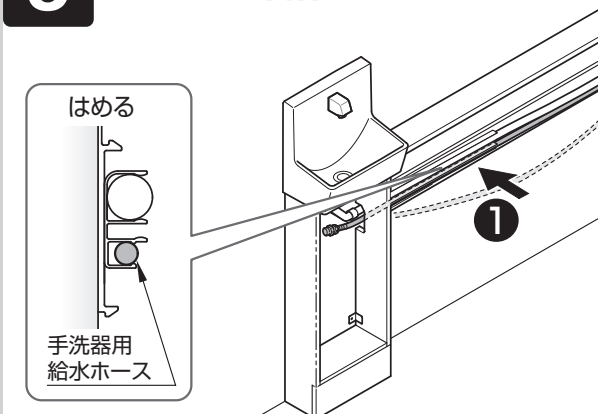
取り付け状態

【左勝手】

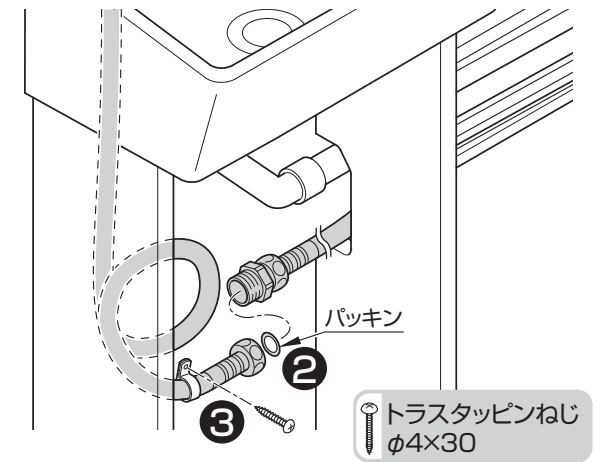
【右勝手】

排水ホースに
接着剤塗布前、
必要に応じて、
内面や開口まわり
を養生する

5 手洗器用給水ホースの接続



ハンドル式水栓

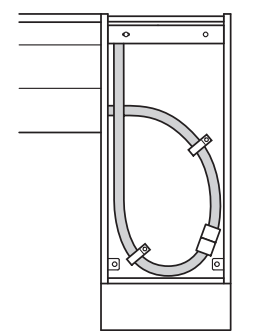
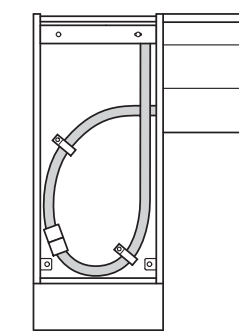


給水ホースの取り回し

カウンター長さ1600の場合

左勝手

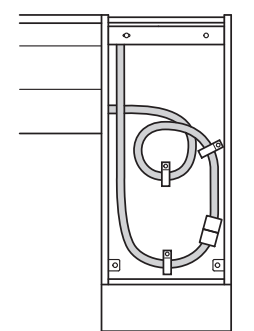
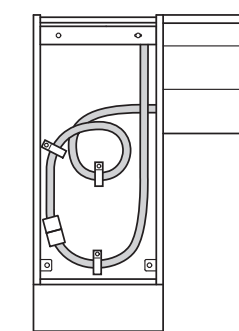
右勝手



カウンター長さ1190の場合

左勝手

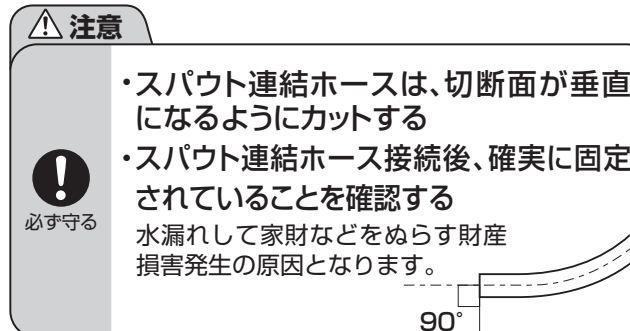
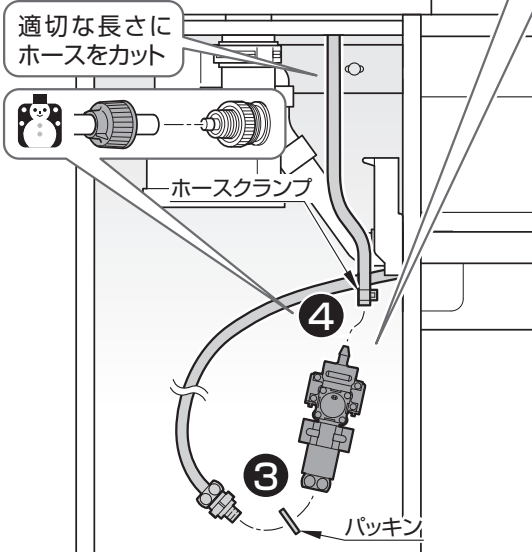
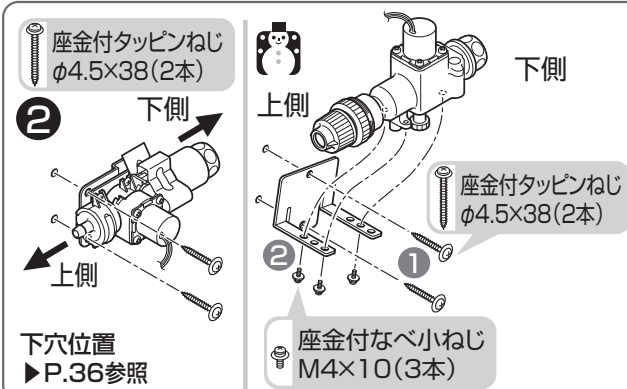
右勝手



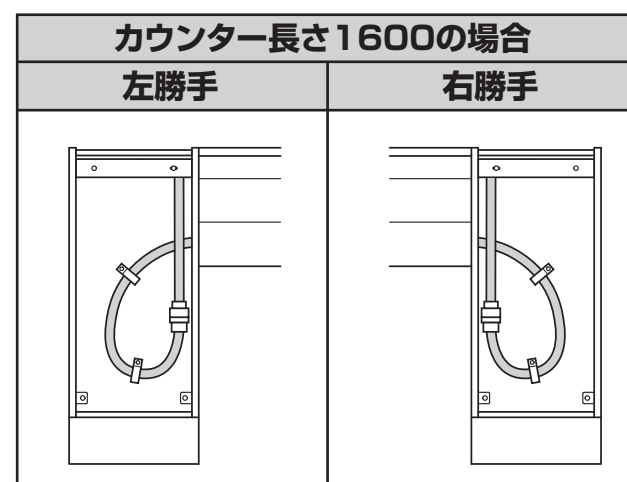
MEMO

Sサイズ | Mサイズ

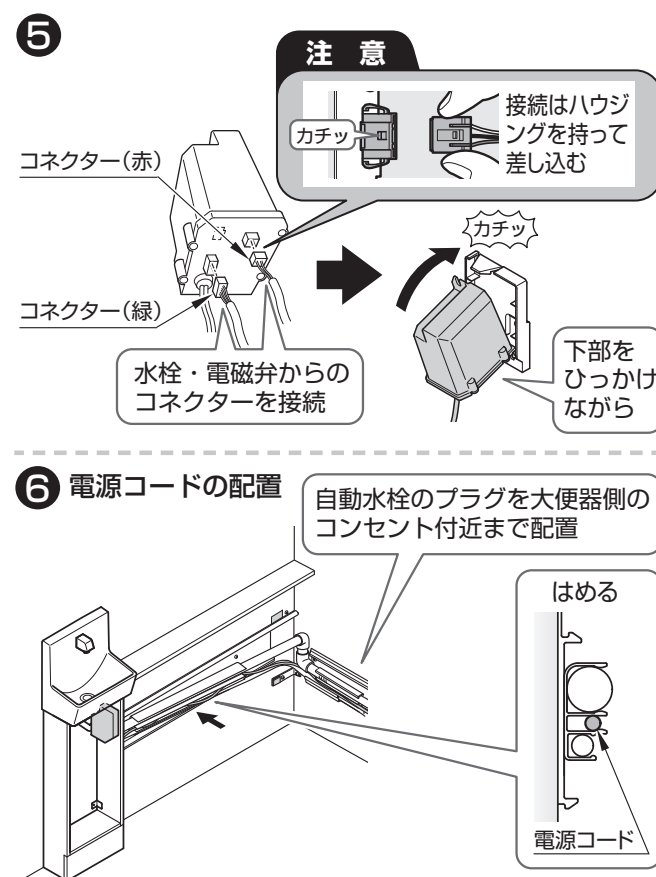
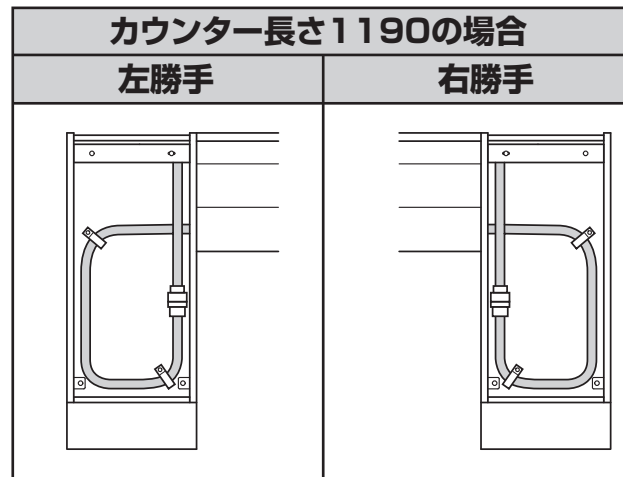
自動水栓の場合



給水ホースの取り回し



給水ホースの取り回し



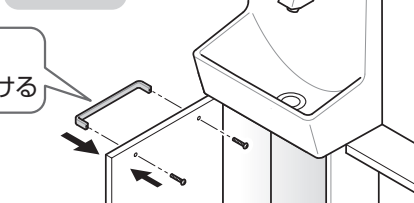
6 タオル掛け (手洗器下取付タイプ) の取り付け

▶専用施工説明書

トラス小ねじ M4×25 (2本)

扉に下穴をあけ
タオル掛けを取り付ける

手締めで



手洗器 M サイズ

4-M.手洗器

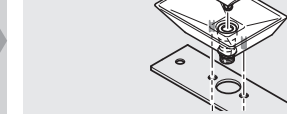
「手洗器Sサイズ」の場合
P.35を参照してください。

1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



▶P.39

2 手洗器の取り付け



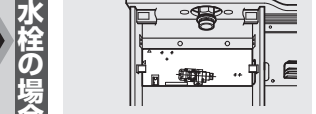
▶P.39

3 水栓金具の取り付け



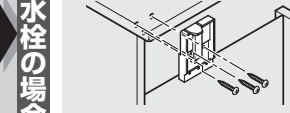
▶P.40

4 取付穴の下穴あけ



▶P.40

5 コントローラー固定材の取り付け



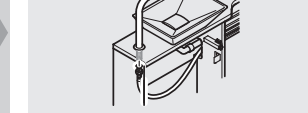
▶P.40

6 排水トラップの取り付け



▶P.40

7 手洗器用給水ホースの接続



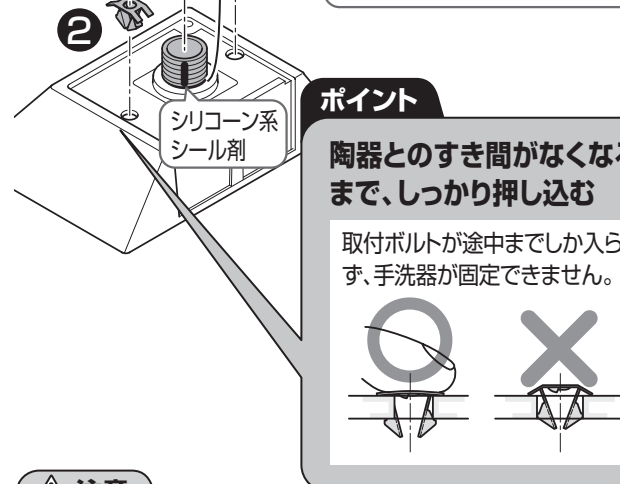
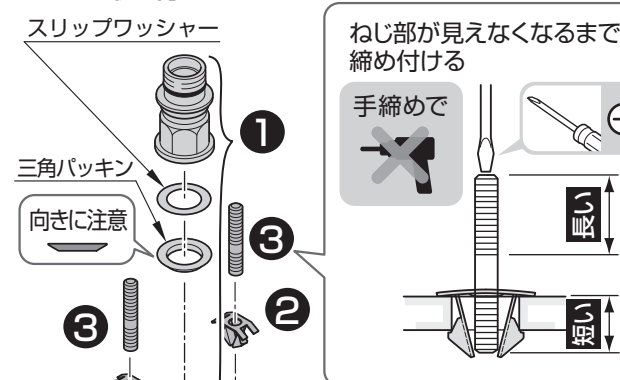
▶P.41

8 タオル掛け(手洗器下取付タイプ)の取り付け



▶P.42

1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



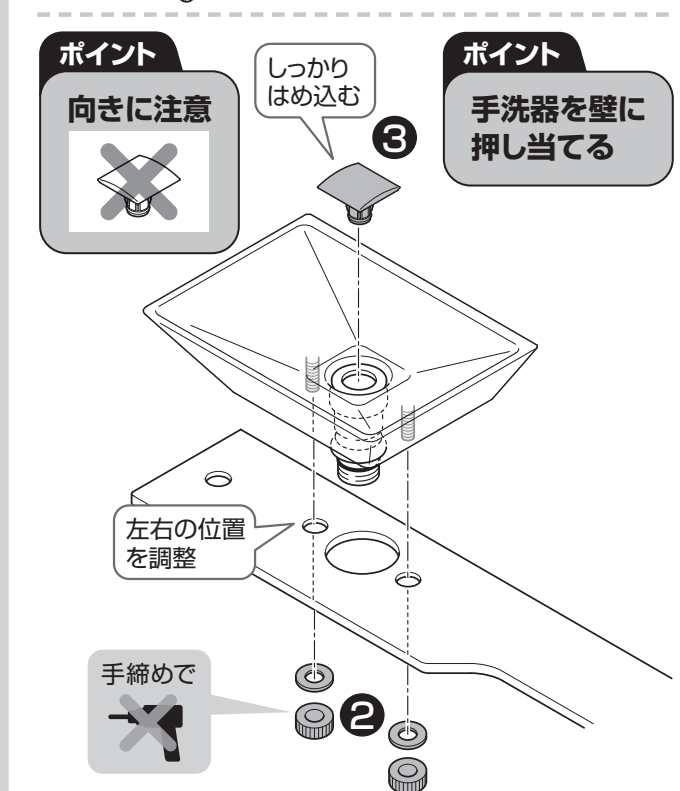
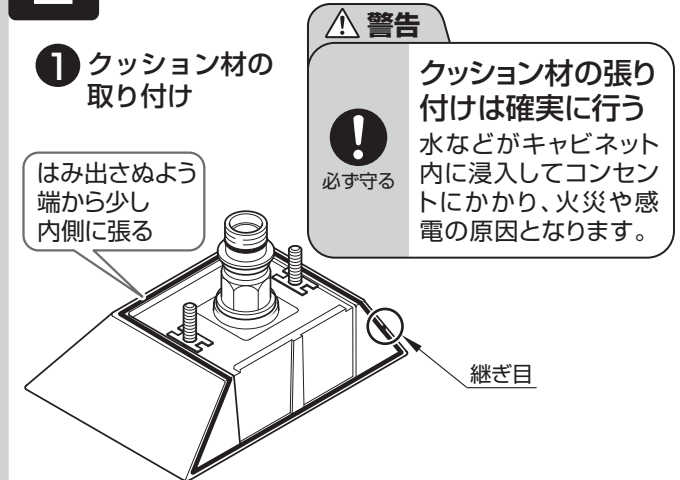
注意

排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シーラントを塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)

2 手洗器の取り付け

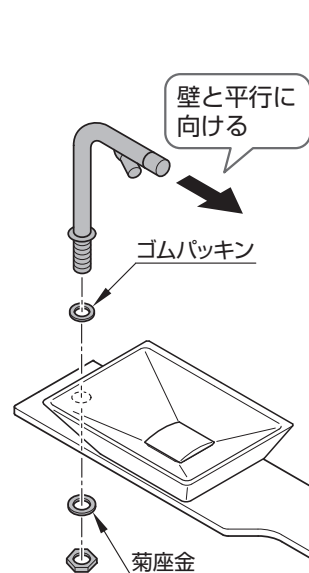


Sサイズ

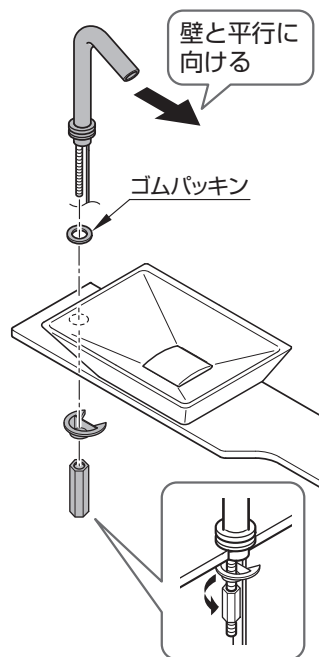
Mサイズ

3 水栓金具の取り付け

ハンドル式水栓



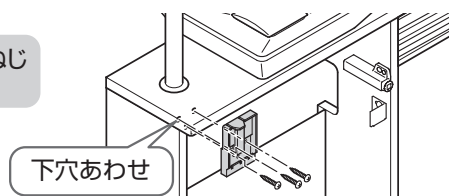
自動水栓



自動水栓の場合

5 コントローラー固定材の取り付け

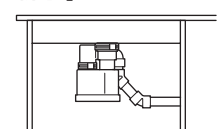
トラスタッピンねじ
φ4×30(3本)



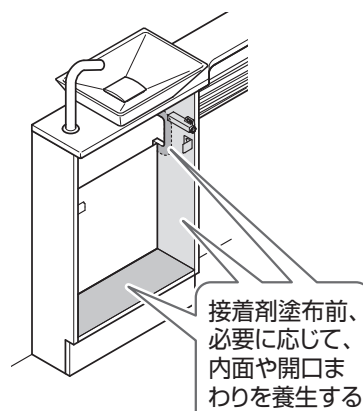
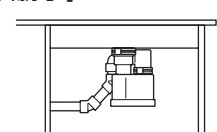
6 排水トラップの取り付け

取り付け状態

【左勝手】



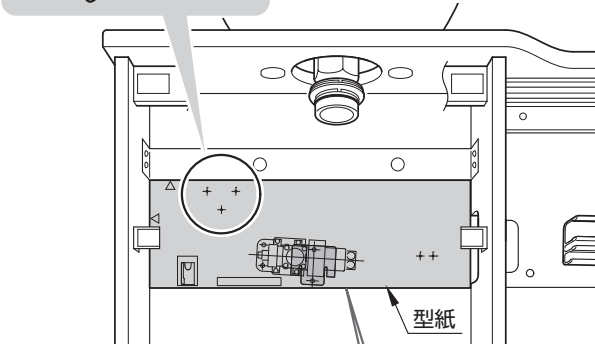
【右勝手】



自動水栓の場合

4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※
φ3

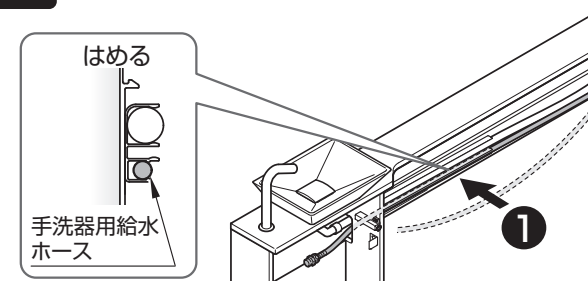


※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)

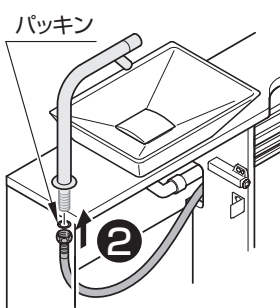
φ9

【けがき位置】
コントローラー固定材取付位置：3カ所
電磁弁取付位置：2カ所
電気温水器取付位置：2カ所
(電気温水器付自動水栓の場合)

7 手洗器用給水ホースの接続



ハンドル式水栓



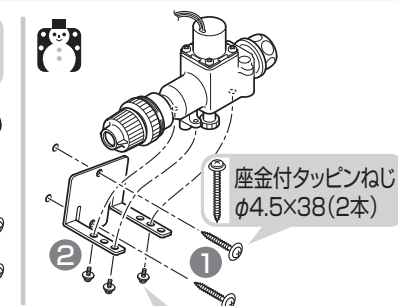
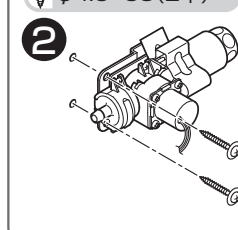
③ 給水ホースの固定
は
ホースクランプ固定範囲

「排水管セット」に同梱
ホースクランプ 2個

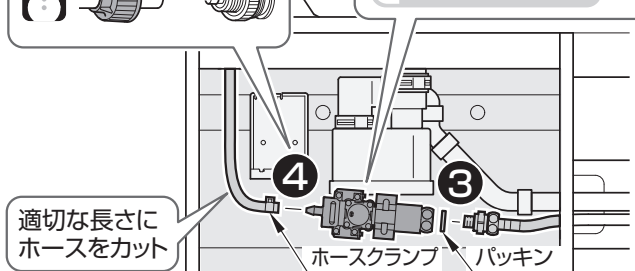
※必要に応じた個数を使用してください。

自動水栓・電気温水器付自動水栓

座金付タッピンねじ
φ4.5×38(2本)



座金付なべ小ねじ
M4×10(3本)



※図は自動水栓の場合

・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

90°

⑤ 給水ホースの固定
壁に固定してください。

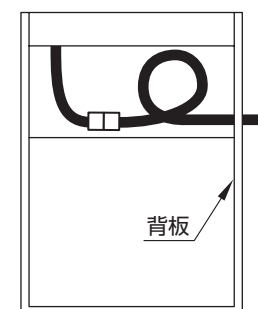
「排水管セット」に同梱
ホースクランプ 2個

※必要に応じた個数を使用してください。

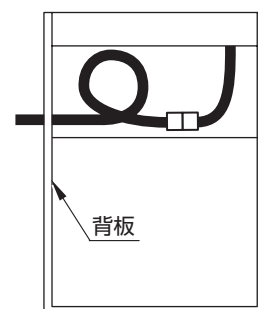
給水ホースの取り回し

カウンターをカットしない場合

左勝手

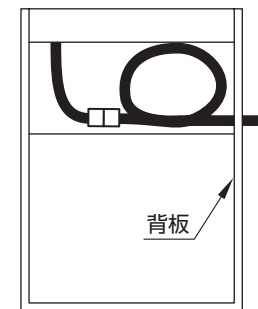


右勝手

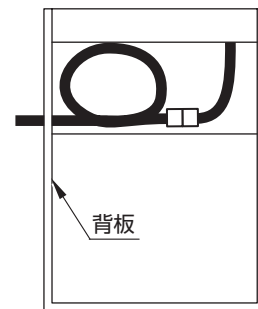


カウンターを100mm以上カットする場合※

左勝手



右勝手

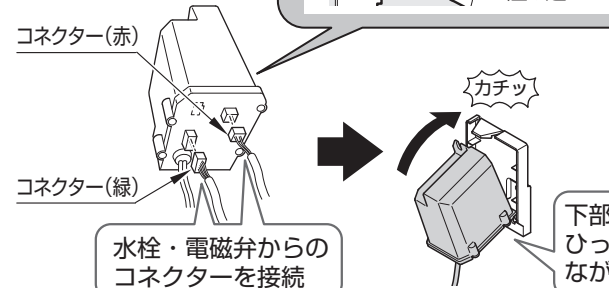


※手洗器用給水ホースを大便器の後でたるませるなど、調整しながら行なってください。

⑥

注意

接続はハウジングを持って差し込む
カチッ



水栓・電磁弁からのコネクタを接続

下部をひっかけながら
カチッ

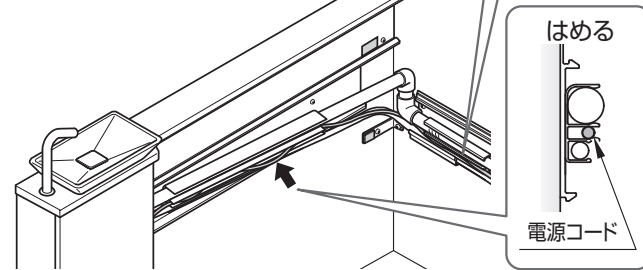
Sサイズ

Mサイズ

7 電源コードの配置

※電気温水器付の場合不要

自動水栓のプラグを大便器側のコンセント付近まで配置

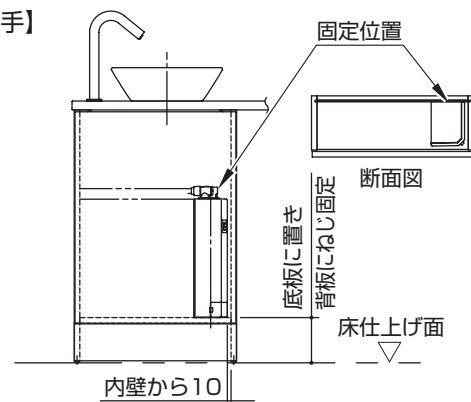


電気温水器付自動水栓

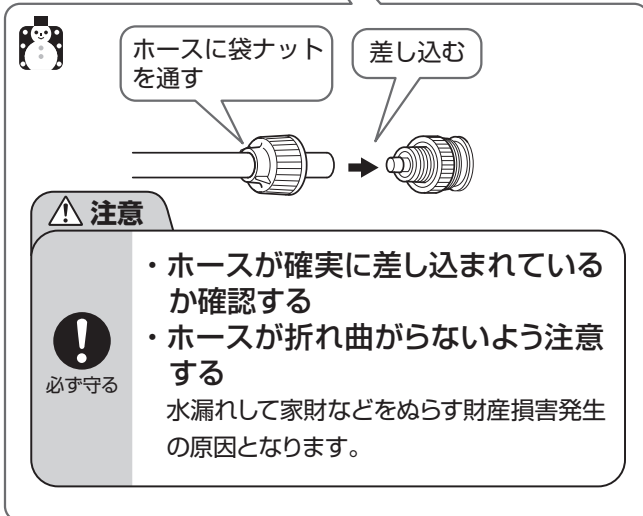
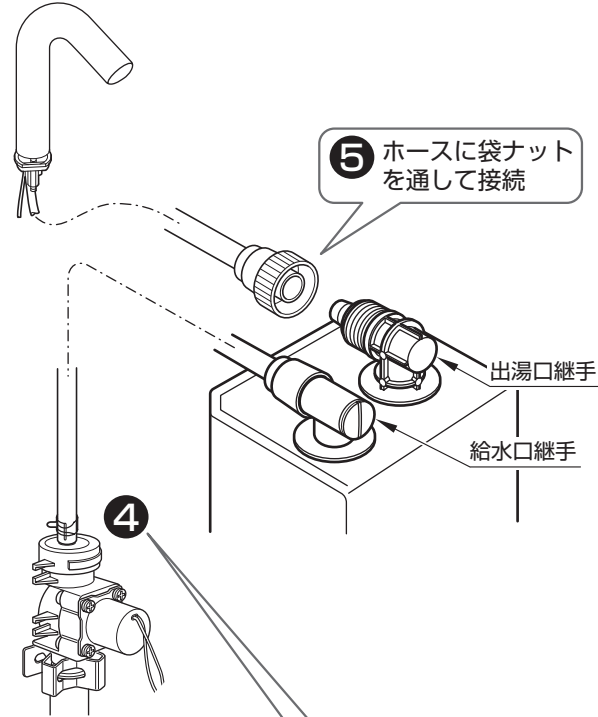
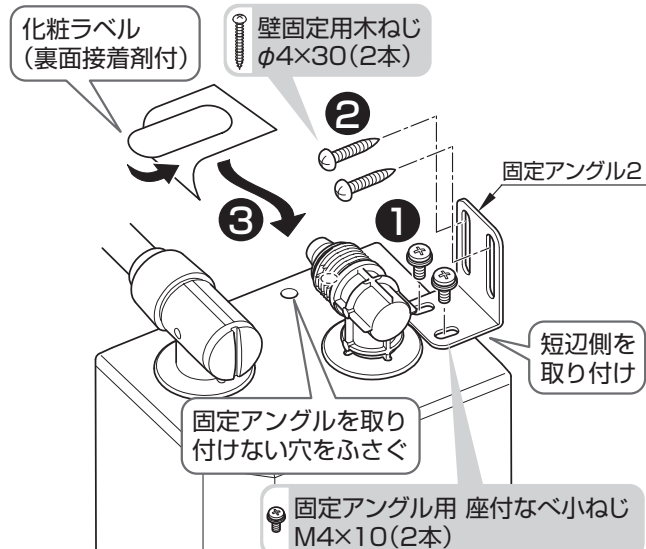
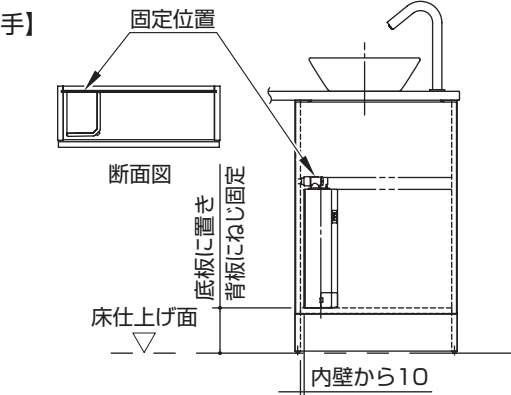
▶電気温水器施工説明書

電気温水器取付位置

【左勝手】



【右勝手】



8 タオル掛け (手洗器下取付タイプ) の取り付け

カウンター裏面の下穴に固定
※ねじの取付位置を間違えると、
扉に傷がつきます。

手締めで

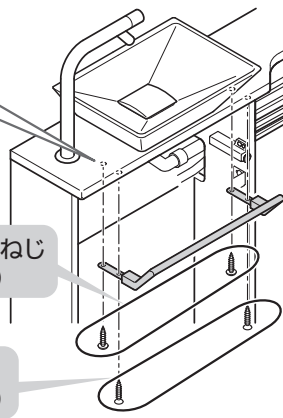


奥側

トラスタッピンねじ
φ4×16 (2本)

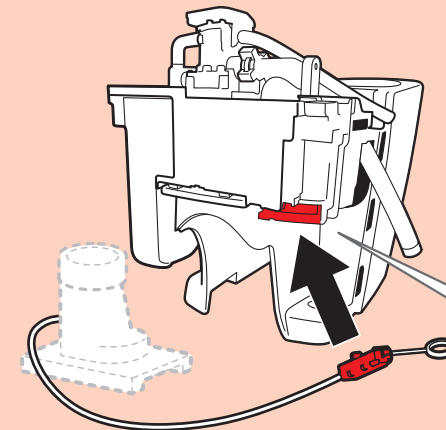
手前側

皿タッピンねじ
φ3×16 (2本)



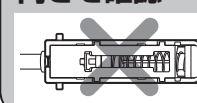
5.手動レバー

1 手動レバーの取り付け



注意

手動レバーの
向きを確認



1 真横にスライド



2 「カチッ」とはめる

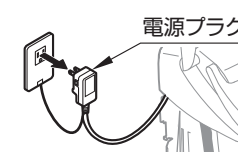


3 引っ張って外れないことを確認

ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

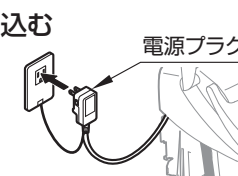


1 電源プラグを抜く

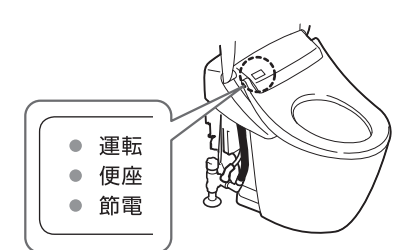


2 1 に従って手動レバーを取り付ける

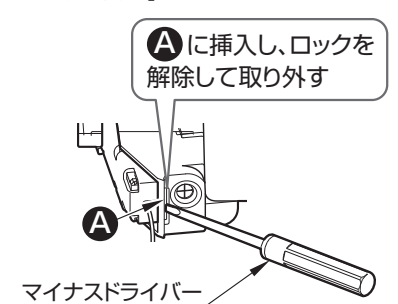
3 電源プラグを差し込む



4 ブザー音が止まり、ランプの点滅が
すべて消えていることを確認する



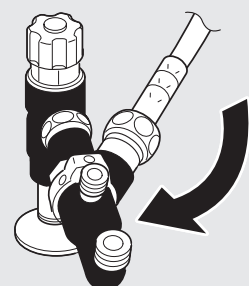
【手動レバーの取り外し】



MEMO

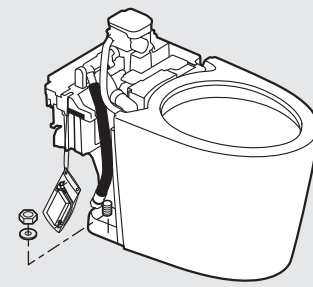
6.大便器

1 大便器固定の準備



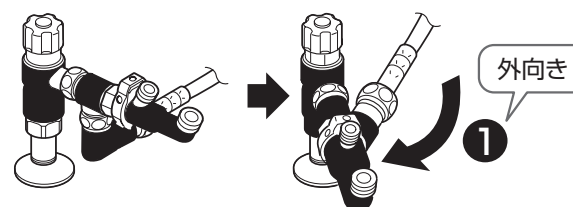
▶P.44

2 大便器の固定



▶P.44

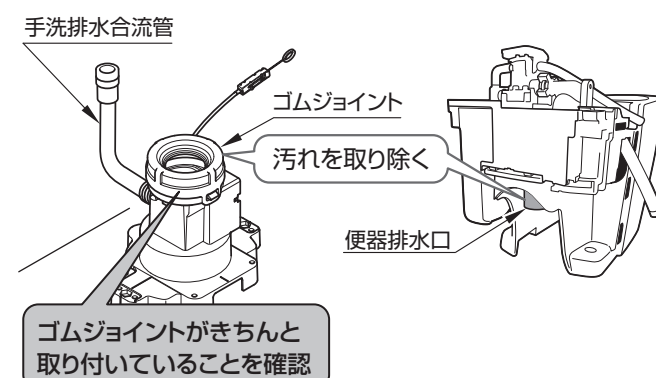
1 大便器固定の準備



⚠ 注意

分岐金具を外向きにする
便器本体または分岐金具が干渉して破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 便器排水口、排水ソケットの接続部周辺の汚れ除去



ゴムジョイントがきちんと
取り付けられていることを確認

手動レバーの取り回しかた



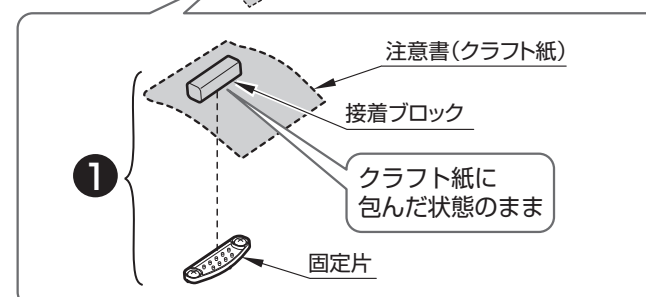
注意 ※手動レバーは手洗排水合流管の外側を通す
手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まない

2 大便器の固定

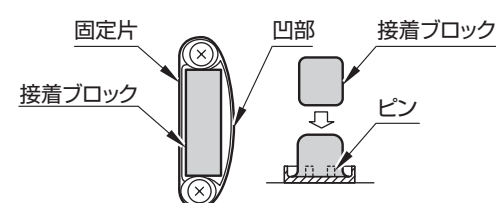


⚠ 注意

機能部を持たないこと
破損するおそれがあります。

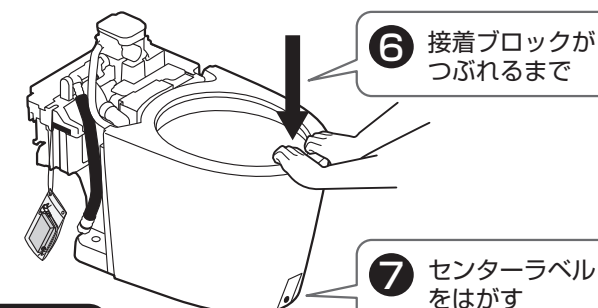
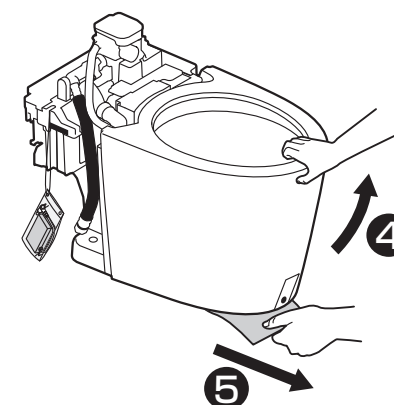


接着ブロックについて



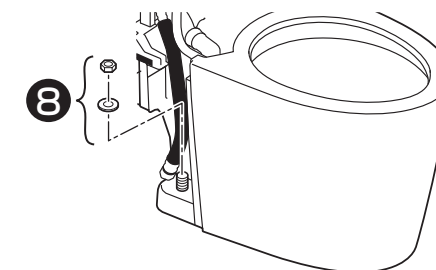
※【施工直後にやり直す場合】
形状を図のように整える
※接着ブロックの方向性は特になし
※【接着ブロックが固くなった場合】
気温が下がると固くなる場合があるため、20～30℃の
ぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する
※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照

3 センターラベルを基準に便器の位置を微調整



⚠ 注意

便器が床につくまで
しっかり便器を押さえる



⚠ 注意

ナットを確実に締める
締め過ぎて便器を割らない
ように注意してください。



最後の締め増しは、手締めにより行い、便器
を割らないように注意すること

9 分岐金具を元の位置に戻す

7.ウォシュレット

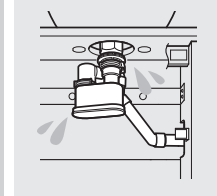
1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

MEMO

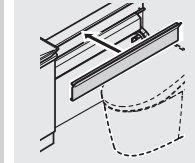
8. 確認・仕上げ

1 通水・水漏れの確認



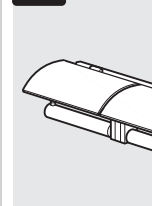
▶P.46

2 カバー類の取り付け・扉の調整



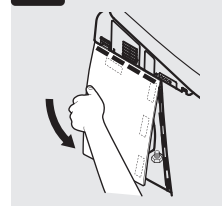
▶P.46

3 紙巻器



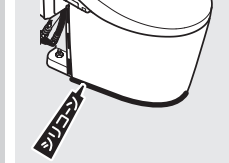
▶P.47

4 すっきりパネル



▶P.48

5 シリコン系シール剤の塗布



▶P.48

1 通水・水漏れの確認

ウォシュレットの施工説明書に従い、吐水確認（試運転）を行ってください。

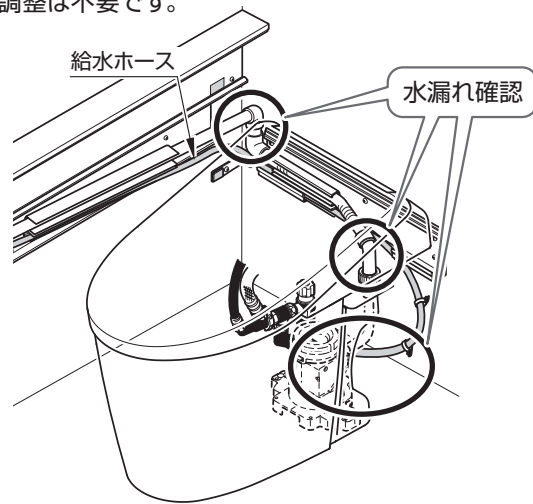
【確認のポイント】

□給水・排水接続部（溶着部、クイックファスナー部）からの水漏れがないか

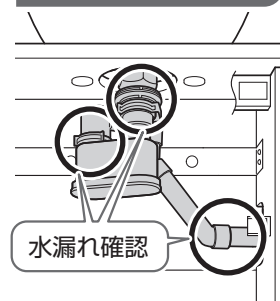
□流量は少ないか

※流量が少ない場合は、止水栓を閉めて、フィルターを掃除してください。

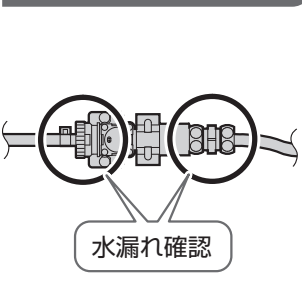
止水栓に定流量弁が内蔵されているため、流量の調整は不要です。



排水部



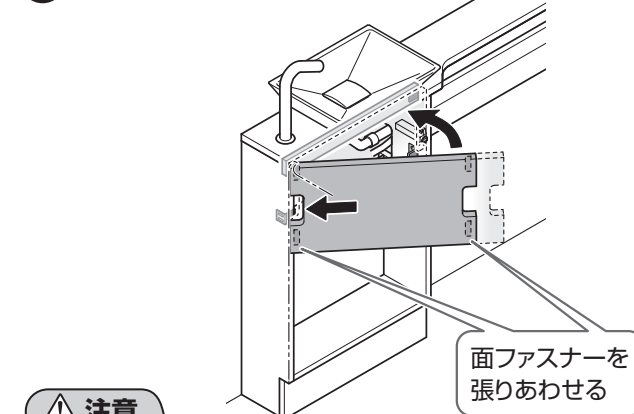
給水部



※自動水栓の光電センサーLEDは、電源を入れてから約10分間は点滅もしくは感知のたびに点滅しますが、その後は点滅は消え、正常に作動します。

2 カバー類の取り付け・扉の調整

1 トラップカバー（Mサイズのみ）



注意

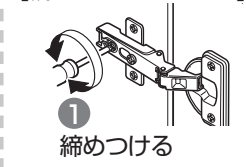
取り付け時は強く押し込む落下してけがの原因となります。

2 扉の調整

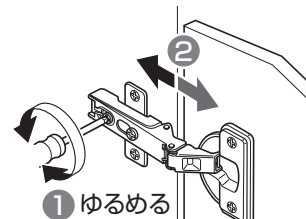
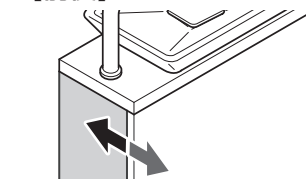
【上下】



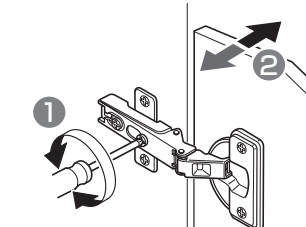
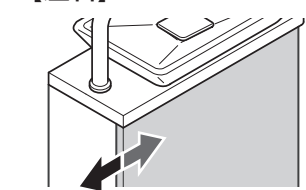
【扉がゆるんだとき】



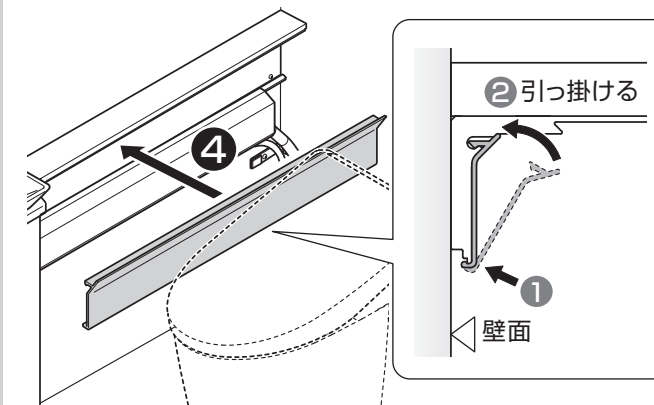
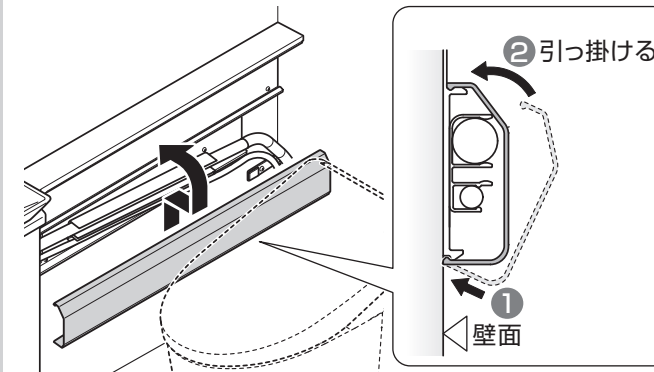
【前後】



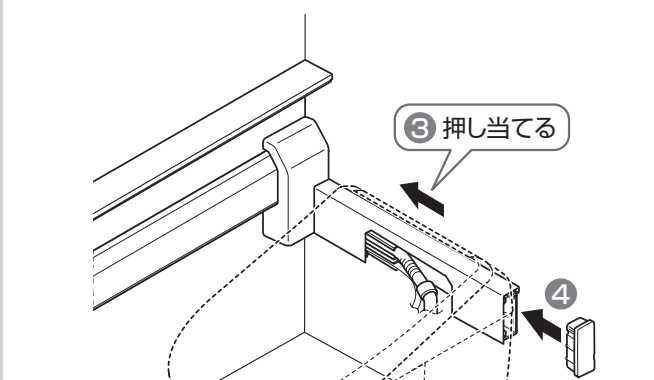
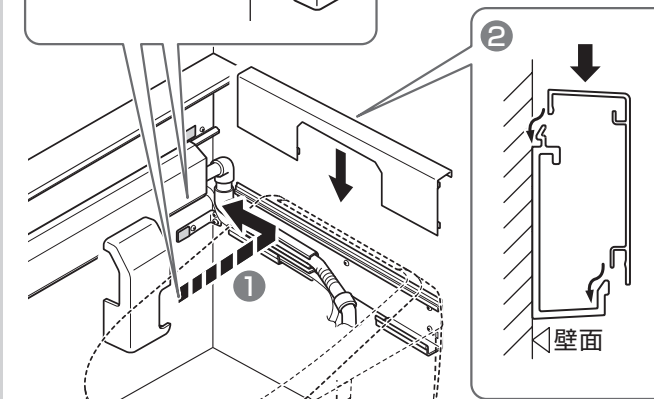
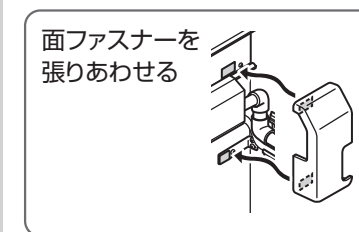
【左右】



③ 配管カバー（カウンター側）

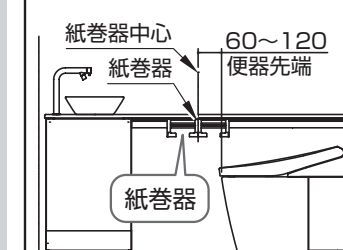


⑤ 配管カバー（間口側）



3 紙巻器

紙巻器取り付け推奨位置

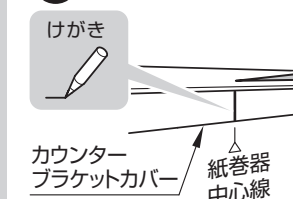


設置位置は図の範囲が推奨となります。

※カウンターの長さによっては推奨位置に取り付かない場合がありますので、ご注意ください。

メタル製紙巻器の場合

1



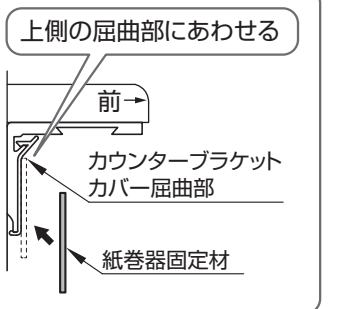
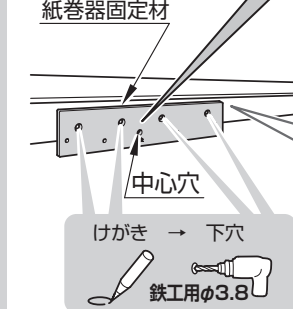
ポイント

中心線の左右160mm以内にキャビネットがないこと

2

ポイント

中心穴を紙巻器中心位置にあわせる



3



4



穴位置にあわせて取り付ける

座金組込ナベ小ねじ M4×10(4本)

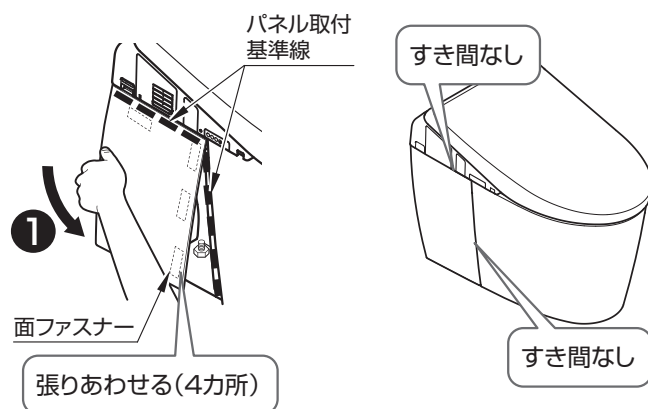
樹脂製紙巻器の場合



4 すっきりパネル

ウォシュレット本体の試運転確認後に取り付ける

給水新設



既存給水流用



【すっきりパネルが取り付けられない場合】

□給水ホースの接続方法を確認

▶ウォシュレット施工説明書

5 シリコン系シーล剤の塗布

※TOTOおすすめシリコン系シーล剤(別途手配)
メジール(クリア)：YG903S

手洗器 Mサイズ

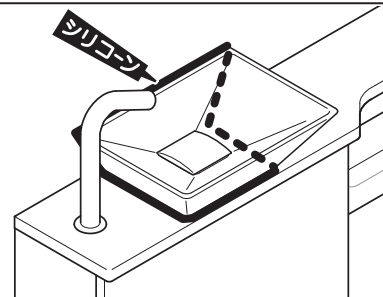
警告



必ず守る

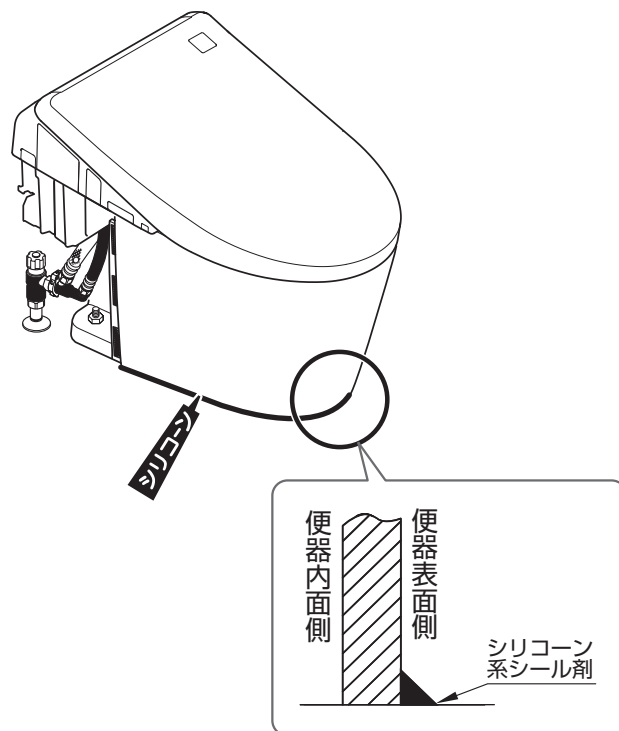
シリコン系シーล剤の塗布
(コーキング)は確実に行う

水などがキャビネット内に浸入してコンセント
にかかり、火災や感電の原因となります。



大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床設置部周囲に
防カビ性の透明シリコン系シーล剤を塗布すること
をおすすめします。



工事店様へ

このたびはネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付(ワンデーリモデル)を施工いただき
ありがとうございました。

UGX1129

